CONTENTS

CHAPTER 1 Windows 7 の基本操作 5

1 ● Windows 7 の画面構成 …… 6
2 ●スタートボタンの操作 …… 8
3 ●コンピューターを使ってみよう …… 10
4 ●コントロールパネルの中身 …… 12
5 ●ヘルプを参照するには …… 14
6 ● Windows フリップと Windows フリップ 3D …… 16
7 ●ガジェットについて …… 18

CHAPTER 2 日本語の入力 21

8 ●ワードパッドを起動する …… 22
9 ● IME について …… 24
10 ●日本語を入力する …… 26
11 ●文書をファイルに保存する …… 30
12 ●保存した文書を開く …… 32

CHAPTER 3 ファイルとフォルダーの操作 35

13 ●フォルダーの中身を参照する …… 36
14 ●ファイルやフォルダーの一覧を表示する …… 38
15 ●ファイルやフォルダーを作成する …… 40
16 ●ファイルやフォルダーを選択する …… 42
17 ●ファイルやフォルダーを削除する …… 44
18 ●ファイルやフォルダーを検索する …… 46
19 ●ファイルやフォルダーの圧縮と解凍 …… 48
20 ● DVD にデータを書き込むには …… 50

CHAPTER 4 インターネットとメール 53

21 ● Internet Explorer8.0 の起動・終了 …… 54
22 ● Internet Explorer8.0 の画面構成 …… 56
23 ●ホームページを参照する …… 58
24 ●タブブラウザ機能について …… 60
25 ●ホームページを「お気に入り」に登録する …… 62

26 ● WindowsLive メールのインストール 64
27 ● WindowsLive メールの初回設定 68
28 ●メール本文の作成 70
29 ●メールを送信する 72
30 ●アドレス帳にメールアドレスを登録する 74
31 ●アドレス帳から宛先を入力する 76

CHAPTER 5 アプリケーションのインストールと削除 79

32 ●アプリケーションをインストールする 80
33 ●プログラムの削除 82

CHAPTER 6 写真の活用 85

34 ●デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む 86
35 ●取り込んだ写真を閲覧する 88
36 ●取り込んだ写真を印刷する 90

CHAPTER 7 音楽とビデオの再生 93

37 ● Windows Media Player を起動する 94
38 ●音楽ファイルを再生する 96
39 ●音楽 CD を再生する 98
40 ●音楽 CD をパソコンに取り込む 100
41 ●音楽を CD-R にコピーする 102
42 ● DVD にビデオファイルを書き込む 104
43 ● Windows Media Center の起動 106
44 ● Windows Media Center で音楽を再生する 108
45 ● Windows Media Center で動画を再生する 110
46 ● Windows Media Center で写真を閲覧する 112

CHAPTER 8 Windows の各種設定 115

47 ●画面の解像度や色数を設定する 116
48 ●デスクトップの背景を設定する 118
49 ●スクリーンセーバーを設定する 120
50 ●日付と時刻を設定する 122
51 ●デスクトップにショートカットを作成する 124
52 ●ユーザーアカウントを追加する 126

53 ●ユーザーアカウントの設定を変更する 130
54 ●ファイルやフォルダの共有 132

CHAPTER 9 Windows のメンテナンス 135

55 ●セキュリティーセンターについて 136
56 ● WindowsUpdate について 138
57 ● Windows ファイアウォールの設定 140
58 ●システムの復元を利用する 142
59 ●ハードディスクを最適化する 144

CHAPTER 1

Windows 7の基本操作

本章では、Windows 7の画面構成および基本操作について説明します。

1 ● Windows7の画面構成 6
2 ● スタートボタンの操作 8
3 ● コンピューターを使ってみよう 10
4 ● コントロールパネルの中身 12
5 ● ヘルプを参照するには 14
6 ● Windows フリップと Windows フリップ 3D 16
7 ● ガジェットについて 18

SECTION

1 Windows7 の画面構成

パソコンを起動すると、Windows7 のデスクトップ画面が表示されます。すべての作業の基本となるデスクトップの画面をみてみましょう。

- ☑ Windows7 のデスクトップ画面を確認する。
- ☑ アイコンの機能を確認する。

Windows7 のデスクトップ画面

デスクトップ

Windows の画面全体がデスクトップです。画面を机の上と仮定し、このように呼びます。

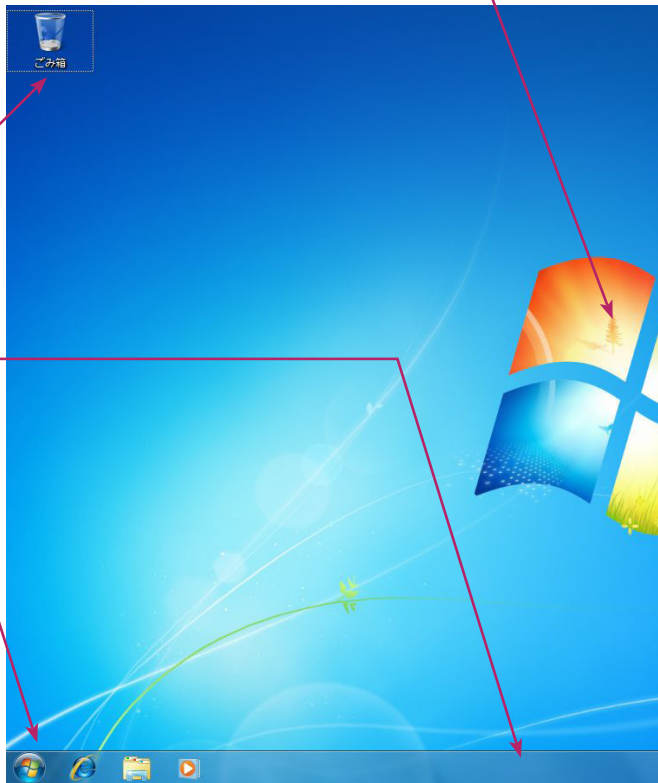
ごみ箱

不必要なファイル・フォルダをこのごみ箱にドラッグし、削除することが出来ます。

タスクバー

画面の最下段にあるバーです。スタートボタン、通知領域などがあります。

スタートボタン

スタートボタンをクリックすることにより、［スタート］メニューが表示されます。［スタートメニュー］はプログラムの起動、フォルダの参照、各種設定などに使います。

言語バー

日本語入力の設定をするためのツールバーです。

マウスポインタ

ファイル・フォルダの選択、アプリケーションの指定などに使います。マウスで動かすことが出来ます。

通知領域

常駐プログラムの起動状態、Windows セキュリティーセンターからの通知などを表示します。

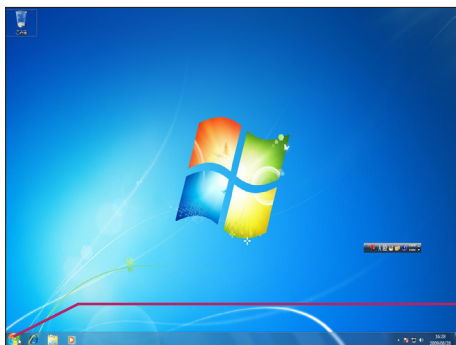
SECTION 2

スタートボタンの操作

画面左下にある［スタート］ボタンをクリックすると、プログラムの起動、Windows の終了などを行う［スタート］メニューが表示されます。

- ［スタート］メニューの項目を確認しよう。
- ［スタート］メニューからプログラムを起動しよう。

スタートメニューを表示する

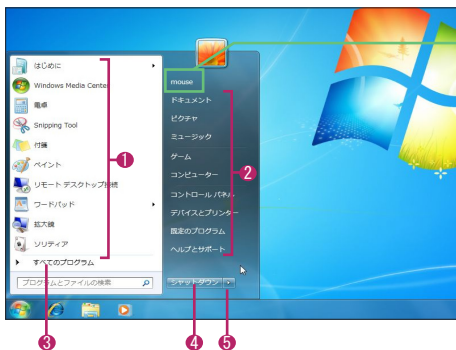
step 1 ［スタート］ボタンをクリックする

Windows7 を起動します

［スタート］ボタンをクリック

ショートカット

［スタート］メニューの表示

キーボードの［Windows］キーを押すことにより、最初のスタートメニューを表示することが出来ます。

step 2 ［スタート］メニューが表示された

ここにユーザー名が表示されます

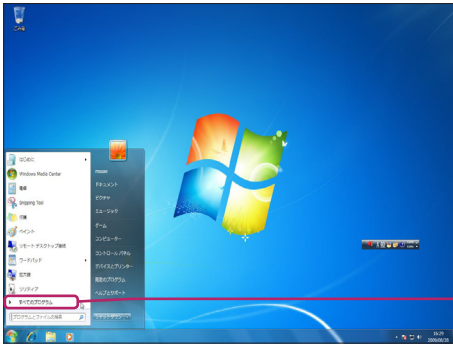
ワンポイント

スタートメニューを消す方法

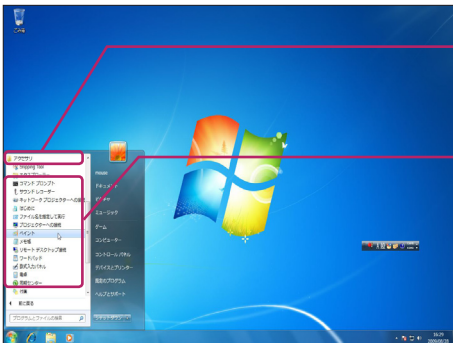
デスクトップの何もないところにポインタを合わせ、マウスをクリックします。

❶ここに最近使用したプログラムが表示されます
❷よく使うファイルにアクセスしたり、各種設定を行います
❸すべてのプログラム：アプリケーション選択し起動します
❹シャットダウン：PC の電源を切ります
❺電源オプション：電源操作を行います

プログラムを起動する

step 1 ［スタート］ボタンをクリックする

［スタート］メニューを表示します

［すべてのプログラム］をクリック

step 2 開きたいプログラムをクリックする

［アクセサリ］をクリック。

開きたいプログラムをクリックすると、プログラムが起動する。

ワンポイント

サブメニューについて

　左の例の場合、［アクセサリ］フォルダーをクリックすることで、そのサブメニューが現れています。このように、［すべてのプログラム］においてはサブメニューが階層表示されます。

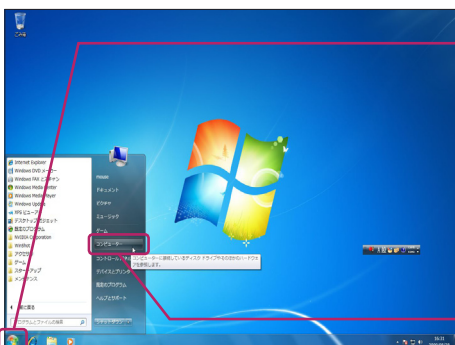
SECTION 3

コンピューターを使ってみよう

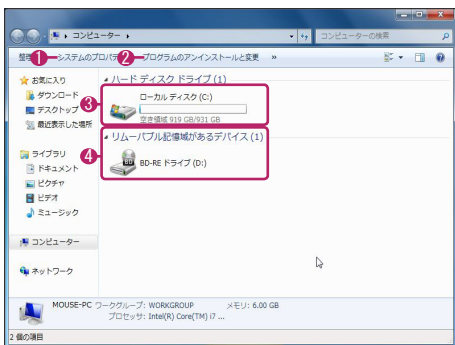
[コンピューター] は、自分のコンピュータの内容を反映、操作するものです。
ここでは、パソコンに接続されている記憶装置の状況を見ることが出来ます。

- ☑ [コンピューター] を開く
- ☑ ローカルディスクの内容を確認する

[コンピュータ] を開く

step 1 [スタート] メニューから [コンピューター] をクリックする

1 [スタート] ボタンをクリック

2 [コンピュータ -] をクリック

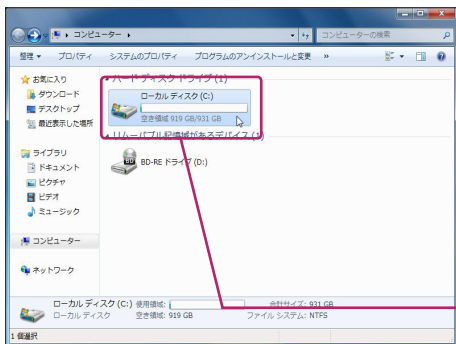
step 2 [コンピューター] が開いた。

[コンピュータ -] が開きました

❶ [システムのプロパティ] を開きます
❷プログラムをアンインストールします。
❸ハードディスクがここに表示されます。
❹ DVD-RW ドライブ、フロッピードライブ、カードリーダー、USB メモリなどの、リムーバブルディスクがここに表示されます。

注意

[コンピューター] の中身はパソコンごとに違う

[コンピューター] の中身は使用しているパソコンのハードウェア構成が反映されます。必ずしも本書と同じにはなりませんので注意してください。

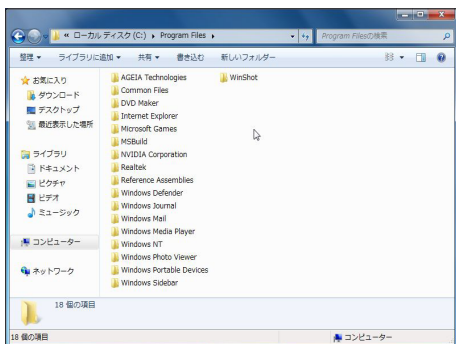
step 3 ［ローカルディスク］を開く

ハードディスクの中身を見てみましょう

［ローカルディスク(C:)］をダブルクリック

step 4 フォルダーの内容を表示する

ドライブＣの内容が表示されました

[Program Files] のフォルダーをダブルクリック

step 5 フォルダのの中身が表示された

[Program Files] の中身が表示された

ワンポイント

ドライブとは

ドライブとは、ハードディスク、フロッピディスク、CD-ROM・R/RW、DVD-ROM・R/RW、USBメモリなどの記憶装置の総称です。ドライブにはA・B・Cというように、［ドライブ文字］が割り当てられています。

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

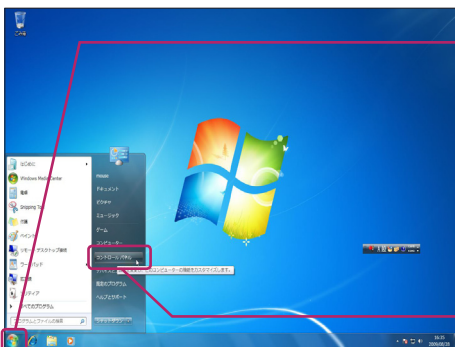
SECTION 4

コントロールパネルの中身

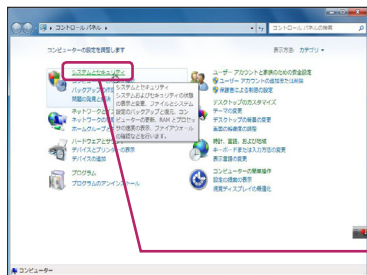
Windows7 のほぼ全ての機能は [コントロールパネル] より、利用環境の設定を行うことが出来ます。

- ☑コントロールパネルから項目を選択
- ☑コントロールパネル項目一覧

[コントロールパネル] を起動する

step 1 [スタート] メニューから [コントロールパネル] を起動

1 [スタート] ボタンをクリック

2 [コントロールパネル] をクリック

step 2 カテゴリを選択する

[コントロールパネル] が開きました。

カテゴリをクリック

カテゴリに含まれるオプション項目が表示されました。

ワンポイント

コントロールパネルとは

Windows の各種基本設定、通信やネットワークに関する設定や、ディスプレイやマウス、キーボード、プリンタ、音声など入出力に関する設定などを行うソフトウェアが集められたメニューです。

コントロールパネルの機能一覧

❶システムとセキュリティ
コンピュータの状態を確認したり、各種セキュリティ昨日の設定を行います。

❷ネットワークとインターネット
ネットワーク、およびインターネット接続に関する設定を行います。

❸ハードウェアとサウンド
音声再生、および各種周辺機器に関する設定を行います。

❹プログラム
プログラムの削除、およびスタートアッププログラムの変更を行います。

❺ユーザーアカウントと家族のための安全設計
ユーザーアカウントの管理、設定変更、および各ユーザーのアクセス権変更などを行います。

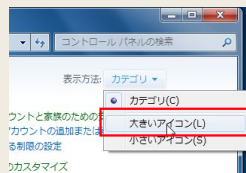
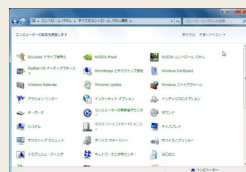
❻デスクトップのカスタマイズ
デスクトップの背景、色の変更、解像度の変更などを行います。

❼時計、言語、および地域
時計の時刻設定、使用する言語・地域の設定を行います。

❽コンピュータの簡単操作
コンピュータの簡単操作に関する設定、および視覚ディスプレイの最適化を行います

テクニック

コントロールパネルをクラシック表示に変更する。

コントロールパネルは初期状態だとカテゴリ別に表示されています。以前のWindowsと同じように一覧表示させるには、[表示方法]⇒[大きいアイコン]をクリックします。

▲[大きいアイコン]をクリック

▲アイコン表示に切り替わる

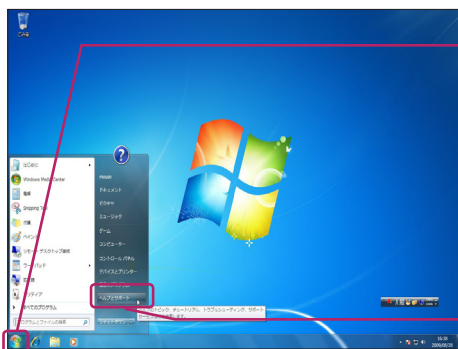
SECTION 5

ヘルプを参照するには

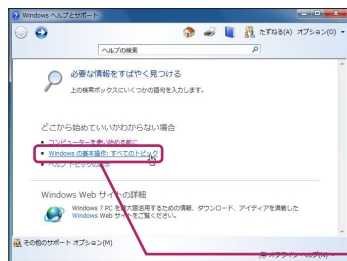
Windows を使っていてわからないことがあったら、ヘルプとサポート機能を使って調べてみましょう。

- ☑ ヘルプを活用する
- ☑ ヘルプを検索する

ヘルプのトピックスからヘルプを参照する

step 1 ［スタート］から［ヘルプとサポート］をクリック

1 ［スタート］ボタンをクリック

2 ［ヘルプとサポート］をクリック

step 2 ヘルプが表示された

［ヘルプとサポート］が開きました。

[Windows の基本操作］をクリック。

ショートカット

ヘルプの起動方法

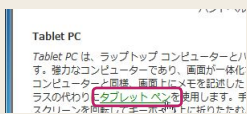
キーボードの「F1」キーを押しても、ヘルプを表示することが出来ます。

テクニック

用語の意味を表示する

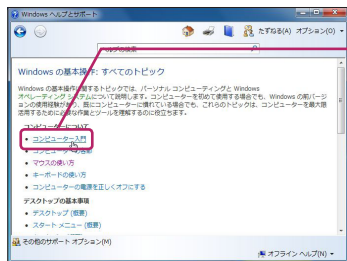
緑色の字にアンダーラインが引かれている項目をクリックすると、その用語の意味が表示されます。

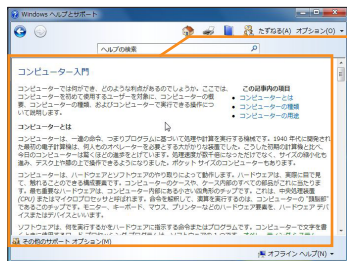
Tablet PC

Tablet PC は、ラップトップ コンピューターとハ
す。強力なコンピューターであり、画面が一体化
コンピューターと同様、画面上にメモを記述した
ラスの代わりにタブレット ペンを使用します。手

▲アンダーラインの部分をクリック

す。強力なコンピューターであり、画面が一体化されている点はラ
コンピューターと同様、画面上にメモを記述したり、絵を描いたり
ラスの代わりにタブレット ペンを使用します。手書き文字をタイプ
ablet PC に付属しているペン。画面上の項目を操作する際に使用します。

▲用語の意味が表示された

step 3 調べたい項目をクリックする

［コンピュータ入門］をクリック

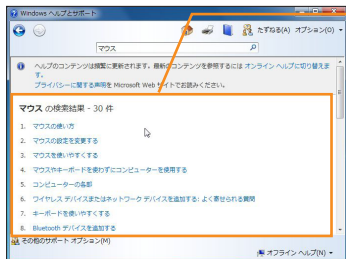
step 4 クリックした項目のヘルプが表示された

［コンピュータ入門］に関するトピックスが表示された。

ヘルプを検索する

step 1 調べたい事項の検索ワードを入力する

1 検索ワードを入力

2 検索ボタンをクリックするか、「Enter」キーを押す

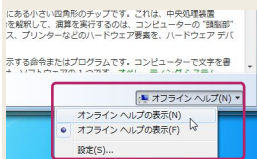
step 2 検索結果が表示される

検索結果の一覧が表示された。目的の項目をクリックすれば内容が表示される。

テクニック

オンラインヘルプの表示

Windows7では、インターネット経由でオンラインヘルプを参照することが出来ます。［ヘルプとサポート］を開き、［オンラインヘルプの表示］をクリックすることで、オンラインヘルプを参照することができます。

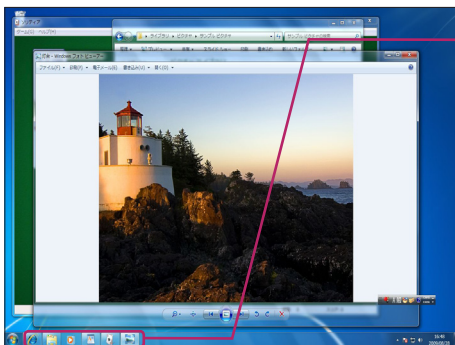
▲［オンラインヘルプの表示］をクリック

SECTION 6

Windows フリップと Windows フリップ 3D

複数のウィンドウの切り替えには、Windows フリップを使用すると便利です。3D 表示の Windows フリップ 3D もあります

- Windows フリップでウィンドウを切り替える
- Windows フリップ 3D でウィンドウを切り替える

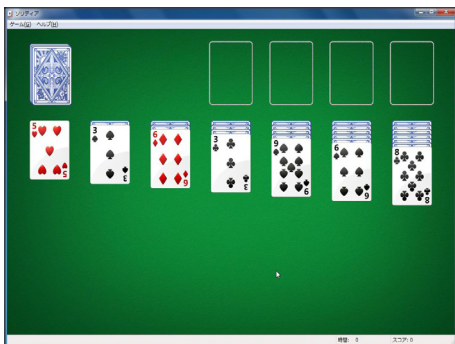
Windows フリップで Window を切り替える

step 1 複数ウィンドウを立ち上げる

ウィンドウを複数起動しておきます

[Alt] キーを押しながら [Tab] キーを押します

step 2 Windows フリップが表示される

[Alt] キーを押したまま、先頭に表示させたいウィンドウまで [Tab] キーで移動し、[Alt] キーを離します

step 3 選択したウィンドウが先頭に表示されます

選択したウィンドウが先頭に表示されます

ワンポイント

Windows フリップ 3D と Windows フリップ

Windows フリップ 3D は、派手な視覚効果でウィンドウをわかりやすく切り替えできるので非常に便利ですが、その反面パソコンのビデオメモリを大量に必要とします。Windows フリップ 3D 操作時に、パソコンの動作がもたつくようであれば、Windows フリップ 3D ではなく、Windows フリップを使用してください。

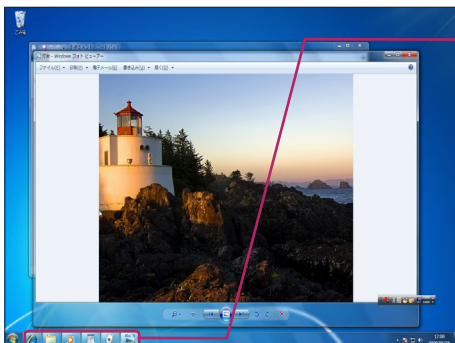
ワンポイント

Windows フリップ 3D を開いたままにする

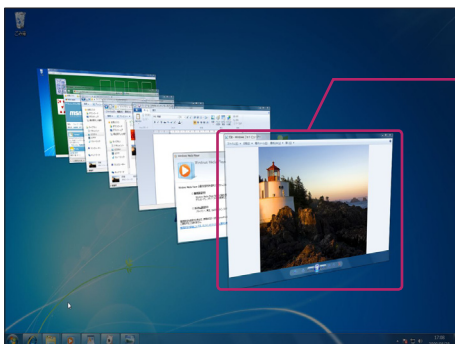
フリップ 3D を使用する方法には、[Ctrl] キー+[Windows] キー+[Tab] キーを押して、フリップ 3D を開いたままにしておく方法もあります。次に、Tab キーを押してウィンドウを順番に切り替えます。右方向キーまたは下方向キーを押して次のウィンドウに進んだり、左方向キーまたは上方向キーを押して前のウィンドウに戻ったりすることもできます。フリップ 3D を閉じるには、Esc キーを押します。

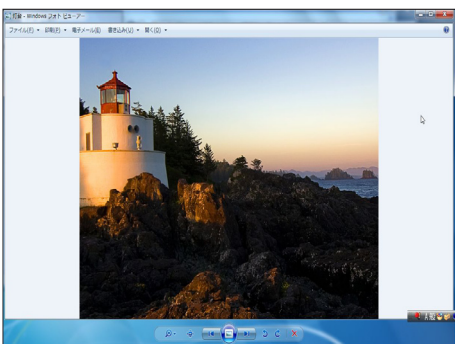
同様に、[Ctrl] キー+[Alt] キー+[Tab] キーを押して、フリップを開いたままにしておく方法もあります。

Windows フリップ 3D で Window を切り替える

step 1 複数ウィンドウを立ち上げる

ウィンドウを複数起動しておきます

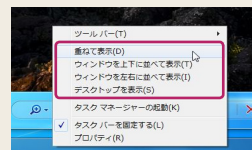
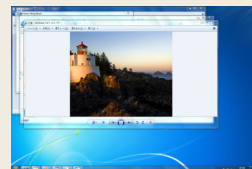
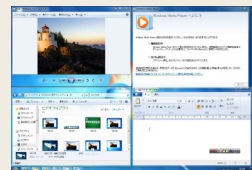
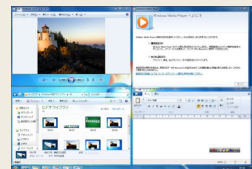
[Windows] キーを押しながら [Tab] キーを押します

step 2 Windows フリップ 3D が表示される

[Windows] キーを押したまま、先頭に表示させたいウィンドウまで [Tab] キーで移動し、[Alt] キーを離します

step 3 選択したウィンドウが先頭に表示されます

選択したウィンドウが先頭に表示されます

ワンポイント

複数ウィンドウを整列する

タスクバーの何もないところを右クリックすると、ウィンドウの整列メニューが表示されます。ここから、任意の整列方法を選択することで、ウィンドウを整列することが出来ます。

▲ウィンドウの整列メニュー

▲[重ねて表示]

▲[ウィンドウを上下に並べて表示]

▲[ウィンドウを左右に並べて表示]

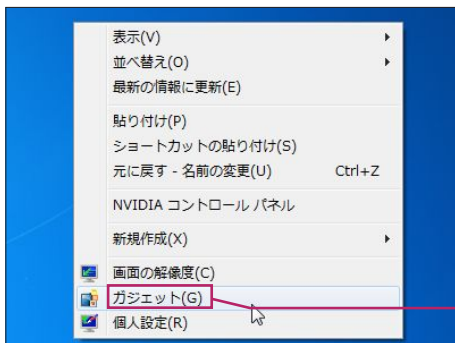
SECTION 7

ガジェットについて

Windows7 では、デスクトップ上に「ガジェット」と呼ばれるプログラムを配置して、様々な機能を持たせることが出来ます。

- ☑ デスクトップ上にガジェットを配置する
- ☑ ガジェットの種類

Windows サイドバーにガジェットを追加する

step 1 デスクトップ上の何もないところで右クリック

デスクトップ上の何もないところで右クリック

［ガジェット］をクリックする

step 2 追加できるガジェットの一覧が表示される

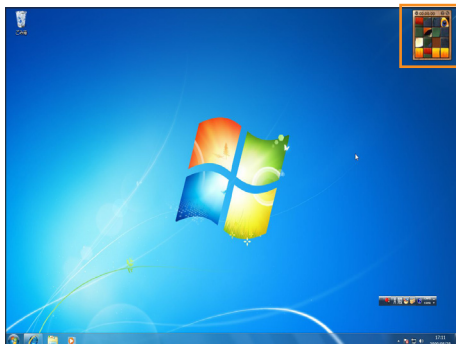
追加可能なガジェットの一覧が表示される

追加したいガジェットをダブルクリックする

ワンポイント

ガジェットとは

ガジェットとは、本来「小道具」を表す言葉です。Windows7 では、デスクトップ上に配置可能なちょっとしたアプリケーションのことを［ガジェット］と呼んでいます。

step 3 選択したガジェットが追加された

選択したガジェットが、Windows サイドバーに追加された。

ワンポイント

ガジェットの種類

ガジェットには様々な種類のものがあり、お好みに合わせて複数配置可能です。主なガジェットには以下のようなものがあります。

❶ CPU メーター
現在の CPU の消費率を随時表示する
❷ Windows MediaCenter
ガジェット内で、TV、音楽、ビデオの再生を行うことができる。
❸カレンダー
カレンダーを表示する
❹スライドショー
パソコンに保存されている写真をスライドショーで表示する
❺ピクチャパズル
1つだけあいているマスを利用してタイルを動かし、一つの絵を完成させるパズル。
❻フィードヘッダー
インターネット経由でニュースのヘッドラインを表示する
❼時計
アナログ表示の時計。
❽通貨換算
インターネット経由で参照している最新のレートで、通貨換算をすることが出来る。
❾天気
特定の場所の天気を表示するツール

CHAPTER 2

日本語の入力

本章では、ワードパッドを使った日本語入力、および文書ファイルの保存について説明します。

8 ●ワードパッドを起動する 22
9 ● IME について 24
10 ●日本語を入力する 26
11 ●文書をファイルに保存する 30
12 ●保存した文書を開く 32

SECTION 8

ワードパッドを起動する

ワードパッドは Windows 標準搭載のワープロソフトです。ワードパッドを起動してみましょう

- ☑ ワードパッドを起動する
- ☑ ［アクセサリ］内のソフトを確認する

ワードパッドの起動

step 1 ［スタート］ボタンをクリックする

［スタート］メニューからワードパッドを起動します

［スタート］ボタンをクリック

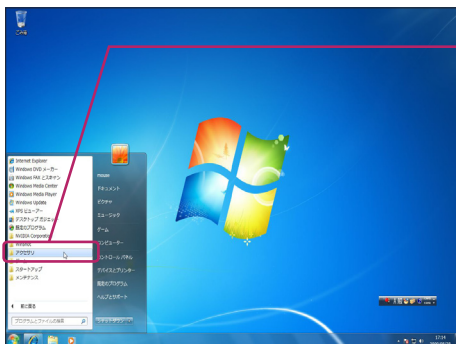
step 2 ［スタート］メニューが表示される

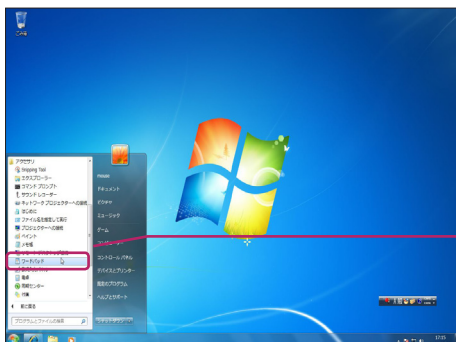
［すべてのプログラム］をクリック

ワンポイント

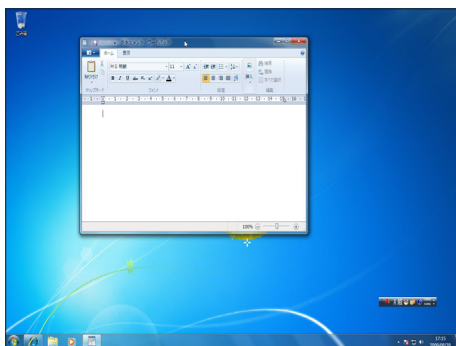
アクセサリソフト

Windows7には［ワードパッド］の他に、お絵かきソフトの［ペイント］、テキストエディタの［メモ帳］、［電卓］などいくつかのアクセサリが付属しています。

step 3 プログラムの一覧が表示される

［アクセサリ］をクリックする。

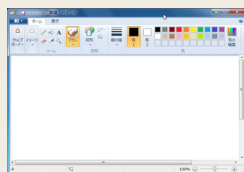
step 5 起動する項目をクリックする

［ワードパッド］が表示されました

［ワードパッド］をクリック

step 5 ワードパッドが起動する

ワードパッドが起動します

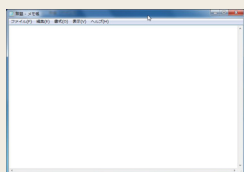
ワンポイント

ペイント

［スタート］⇒［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［ペイント］で、ペイントが起動します。

▲絵を描くことが出来ます。

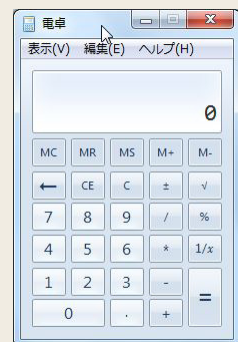
ワンポイント

メモ帳

［スタート］⇒［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［メモ帳］で、メモ帳が起動します。

▲テキストエディタ

ワンポイント

電卓

［スタート］⇒［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［電卓］で、電卓が起動します。

▲複雑な計算も可能

IME について

IME とは、日本語入力を制御するためのソフトです。IME の基本について見てみましょう。

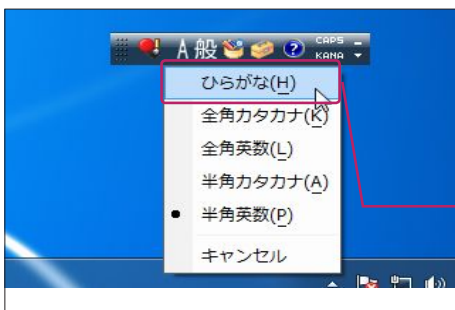
☑ IME の役割を確認する
☑ IME を有効にする

IME を有効にする

step 1 デスクトップ上の言語バーの［ A ］をクリックする

言語バーの［A］をクリック

step 2 メニューが表示される

ひらがな(H)
全角カタカナ(K)
全角英数(L)
半角カタカナ(A)
• 半角英数(P)
キャンセル

入力方法を選択するメニューが表示されます

［ ひらがな ］をクリック

step 3 IME が有効になる

IME が有効になりました。

ワンポイント

日本語入力には IME が必須

日本語入力する際にはかな漢字変換という作業が必須です。この作業を行うのが IME であり、Windows には標準で搭載されています。

ワンポイント

言語バー

デスクトップの右下には言語バーが表示されています。言語バーは、IME の状態を確認したり、設定を変更する際に使用します。

ワンポイント

IME を有効にする

日本語を入力する際には、IME を有効にする必要があります。IME が有効になっているときは、言語バーの左端に「あ」と表示されます。

言語バーの詳細

❶入力方式
IME のプロパティを表示・変更するときなどに使用します。

❷入力モード
入力する文字の種類を選択します。「ひらがな」「全角カタカナ」「全角英数」「半角カタカナ」「半角英数」「直接入力」のどれかを選択できます。「直接入力」を選択した場合には、キーボード上の文字が直接入力できます。

❸変換モード
優先的に変換する候補を選択します。通常は「一般」を選択しますが、人名や地名を優先したい場合には、「人名 / 地名」を、話し言葉を優先的に変換したい場合には「話し言葉」を、かなやローマ字を確定した状態で入力するには「無変換」を選択します。

❹ IME パッド
読み方のわからない漢字を、手書きや総画数、部首、音声入力などをの方法で入力します。

❺ツール
単語や用例を辞書に登録するときなどに使います。

❻ヘルプ
ヘルプを表示します

❼ CAPS/KANA
[CAPS] キー、[カナ] キーのロック状態を表示、切り替えを行います。

❽最小化
最小化ボタンをクリックすると、言語バーがタスクバー内に収容されます。

❾最小化
最小化ボタンをクリックすると、言語バーがタスクバー内に収容されます。

ショートカット

IME の有効・無効の切り替え

［半角 / 全角］キーを押すたびに、IME の有効 / 無効が切り替えられます。

テクニック

言語バーをタスクバーに納める

言語バーの右端にある最小化ボタンをクリックすると、言語バーはタスクバー内に収まります。タスクバー内に収まると、最小化ボタンは復元ボタンに変わり、これをクリックすると元に戻ります

▲最小化ボタンをクリック

▲タスクバーに言語バーが格納され、最小化ボタンが復元ボタンに代わる。

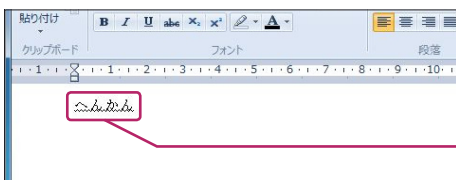
SECTION 10

日本語を入力する

IME が有効になっていることを確認し、ワードパッドに日本語を入力し、文書を作成してみましょう。

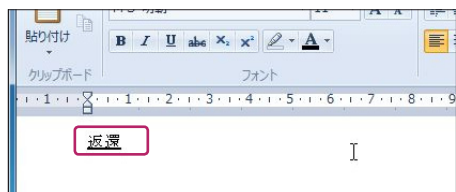
- ☑ 入力した文字を変換する
- ☑ 少し長めの文を入力する
- ☑ カタカナ・英字を入力する

文字の入力、変換をおこなう

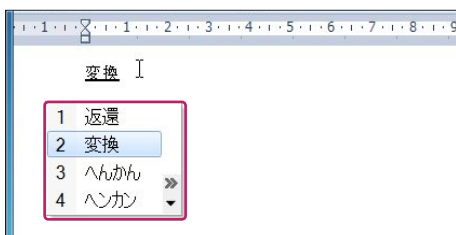
step 1 ワードパッドに文字を入力する

例として「変換」と入力してみましょう

キーボードから「HENKAN」と入力

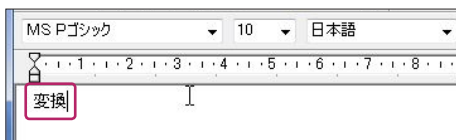
読みが入力されます

step 2 文字を変換する

スペースキーを押します

最初の変換候補に変換されます

step 3 変換候補を選択する

スペースキーを押します

次の変換候補に変換されます

step 4 変換を確定する

「Enter」キーを押します

入力が確定しました

ワンポイント

日本語を入力する手順

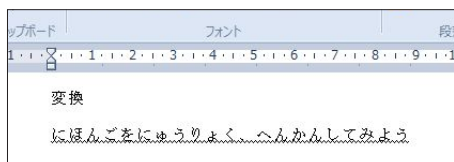
日本語を入力するには、以下の 3 つの手順を踏みます。

1. 読みを入力する
　読みの入力方法には、ローマ字入力とかな入力があります。ローマ字入力の場合には、英字キーを使って、ローマ字で読みを入力します。例えば、「か」と入力したい場合には、「K」キーと「A」キーを順に押します。

2. かな漢字変換する
　読みを入力した後、スペースキーを押すと、かな漢字変換されます。スペースキーを押すたびに、次の候補に変換されます

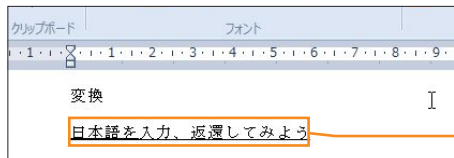
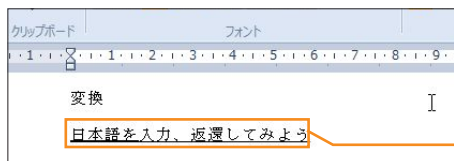
3. 変換を確定する
　変換が正しく行われたら、「Enter」キーを押して確定します。

少し長めの文を入力する

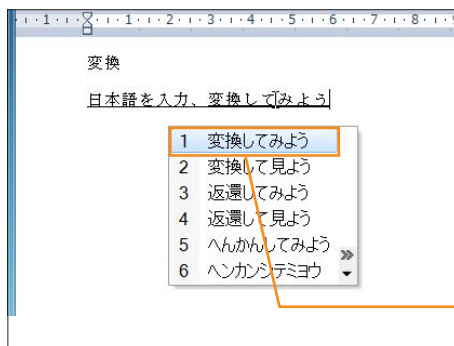
step 1 キーボードから文字を入力する

例として「日本語を入力、変換してみよう」と入力してみましょう

1 キーボードから文字を入力

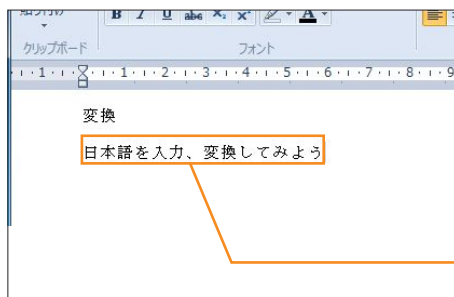
2 スペースキーを押す

読みがなが漢字変換されました

step 2 文節の変換を変更する

「→」キーを押します

「返還してみよう」が選択されます

step 3 変換候補を選択します

スペースキーを押します

選択した文節が、次の候補に変換されます

step 4 変換が確定する

「Enter」キーを押します

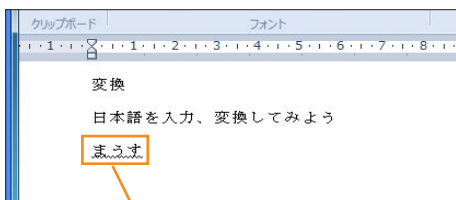
文全体の変換が確定します

ワンポイント

ローマ字入力とかな入力

日本語をキーボードから入力するには、ローマ字入力か、かな入力から選択することになります。かな入力は、キーボードに印字されているかなを直接入力していく方式なので、キーボードをタイプする回数が少なくてすみますが、その分覚えるキーの数が多くなります。覚えるキーの数が少なくてすむローマ字入力の方が入力速度が速くなるので、本書ではローマ字入力を推奨します。

カタカナや英字を入力する

step 1 キーボードから文字を入力

まず、間違った単語を入力して、それを修正してみましょう。

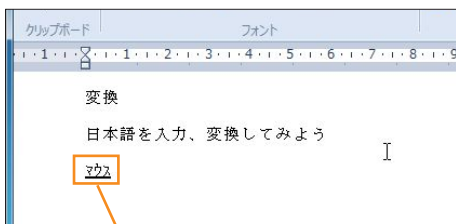
キーボードから「mausu」と入力

「まうす」と入力されます

step 2 全角カタカナに変換

「F7」キーを押します

全角カタカナに変換されます

step 3 半角カタカナに変換

「F8」キーを押します

半角カタカナに変換されます

ワンポイント

ファンクションキーを使った変換

スペースキーでの変換以外に、[F6] ～ [F10] キーを押すことでも、文字を変換することが出来ます。カタカナ、英字に変換する場合は、スペースキーを押して変換候補を選択するより、ファンクションキーで変換した方が効率的です。各ファンクションキーの変換候補は以下のとおりです。

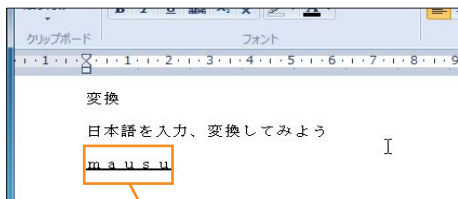
[F6] キー
ひらがなに変換

[F7] キー
全角カタカナに変換

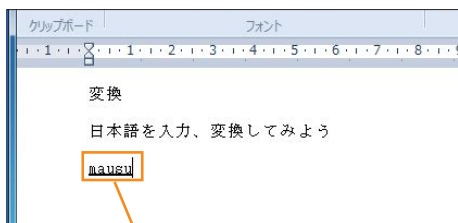
[F8] キー
半角カタカナに変換

[F9] キー
全角英字に変換

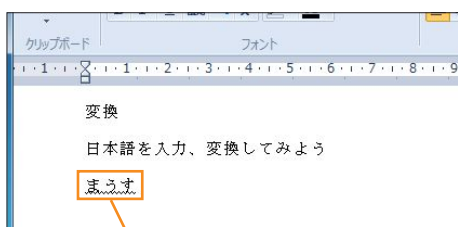
[F10] キー
半角英字に変換

step 4 全角英字に変換

「F9」キーを押します

全角英字に変換されます

step 5 半角英字に変換

「F10」キーを押します

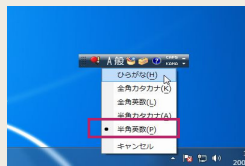
半角英字に変換されます

step 6 ひらがなにに変換

「F6」キーを押します

ひらがなに戻ります

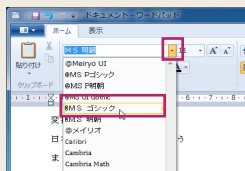
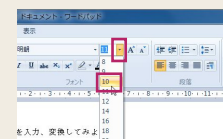
ワンポイント

はじめから入力文字を決めておくには

　言語バーの「あ」をクリックすると、入力文字の種類を選択できます。例えば「半角英数」を選択した場合、言語バーには「A」と表示され、この状態で入力した文字は、半角英数になります。

▲入力文字種類を選択

テクニック

フォントの設定

　フォントの変更を行うには、画面上部のフォント名の横にあるボタンをクリックし、選択する。

▲フォントの変更

▲サイズの変更

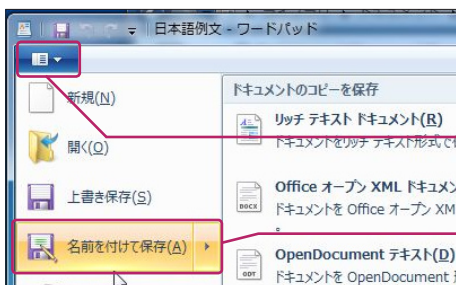
SECTION 11

文書をファイルに保存する

文書を作成しても、そのまま終了すると文書は消えてしまいます。文書を後ほど再度開きたい場合は、ファイルの保存が必要です。

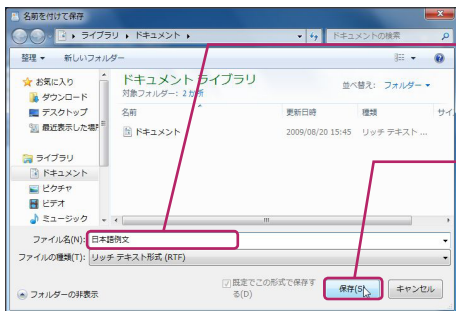
- ☑ 作成した文書をファイルに保存する
- ☑ ワードパッドの終了

ファイルに保存する

step 1 ［ファイル］→［名前をつけて保存］を選択する

作成した文書を保存しましょう

1［ファイル］ボタンをクリック

2［名前をつけて保存］をクリック

step 2 ［名前をつけて保存］の画面が表示される

1 ファイル名を入力します

2［保存］をクリック

作成した文書が保存されます。

ワンポイント

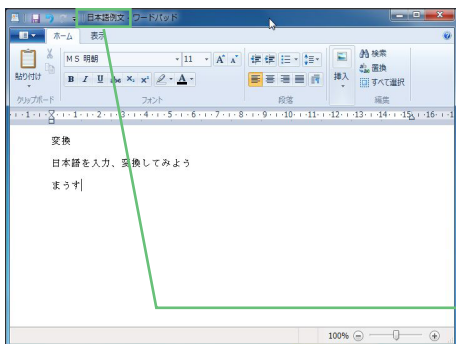
文書の保存

作成した文書は、次回以降、内容を保持したまま閲覧、編集を行うために保存が必要です。また、突然のアプリケーションの終了など予期せぬトラブルの際に文書を保存していないと、一から文書を作り直すことにもなりかねません。作成した文書は、適切な名前をつけて、こまめに保存を行いましょう。

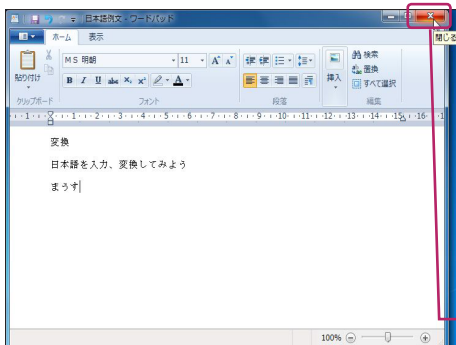
ワンポイント

ファイル名について

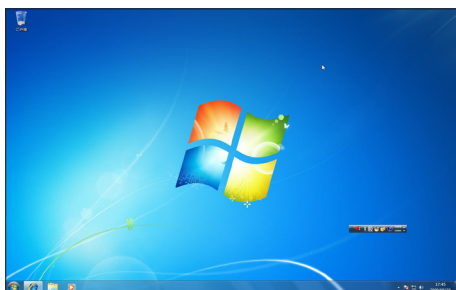
ファイル名の最大長は、半角で 255 文字、全角で 127 文字までとなっています。また､『』¥/:*?<> 等の文字は、ファイル名に使用することは出来ません。

step 4 文書が保存される

タイトルバーに文書の名前が表示されます

ワードパッドを閉じる

step 1 ［閉じる］ボタンをクリック

ワードパッドを閉じましょう

［閉じる］ボタンをクリックする

step 2 ワードパッドが終了する

ワードパッドが閉じました

テクニック

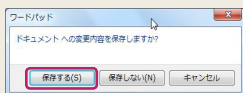
プログラムを終了する方法

［ファイル］メニューから「終了」をクリックすることでも、ワードパッドを閉じることが出来ます。

▲［ワードパッドの終了］をクリック

ワンポイント

保存前に閉じるボタンを押すと

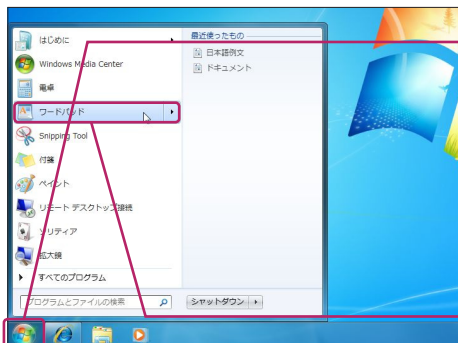
文書を保存する前に、ワードパッドを閉じようとすると、下のようなダイアログボックスが表示されます。「保存する」をクリックすることにより、文書を保存してからワードパッドを閉じることが出来ます。

SECTION 12

保存した文書を開く

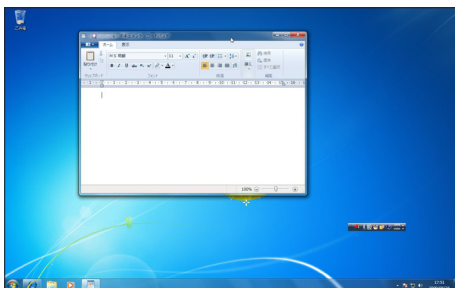
保存した文書は、好きなときに開いて編集することが出来ます。保存した文書を開いてみましょう。

☑ 保存した文書を開く

ワードパッドを起動

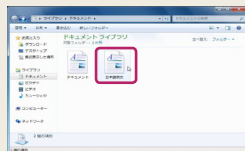
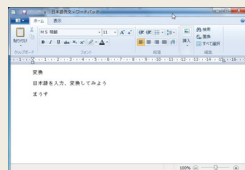
step 1 ［スタート］⇒［ワードパッド］を選択

1 ［スタート］をクリックする

2 ［ワードパッド］をクリックする

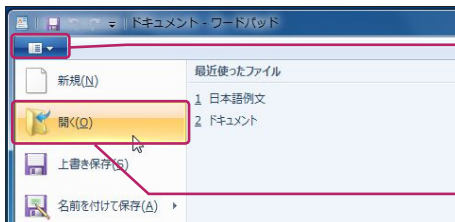
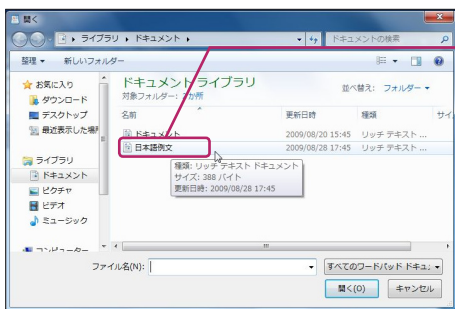
step 2 ワードパッドが起動する

ワードパッドが起動します

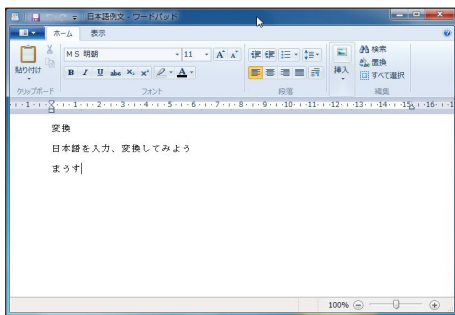
テクニック

保存した文書を開く別の方法

ここで示した方法以外にも、ファイルが保存されているフォルダを開き、開きたいファイルを直接ダブルクリックすることで、関連付けられたアプリケーションが自動的に起動し、ファイルを開くことが出来ます。

▲開きたいファイルを直接ダブルクリックする

▲ファイルが開く

保存してある文書を開く

step 1 ［ファイル］から［開く］を選択する

step 2 ［開く］ダイアログボックスが表示される

開きたいファイル名をダブルクリック

step 3 選択したファイルが開きます

選択したファイルが開きました

ワンポイント

ワードの文書も開くことが出来る

　ワードパッドでは、Wordで作成したdocファイルも開くことが可能です。また、メモ帳などで作成したテキストファイル（txtファイル）も読み込み可能です。テキストファイルをワードパッドに読み込んだ後、フォントの変更、レイアウトの調整などを行うことも可能なので、本文のみを先にメモ帳などで作成しておき、全体的なレイアウトを後からワードパッドで行うといった使い方も可能です。

CHAPTER 3

ファイルとフォルダの操作

本章では、ファイルとフォルダの参照、表示、作成、選択、削除、検索、圧縮および解凍、データを DVD に書き込む方法を説明します。

13 ● フォルダの中身を参照する 36
14 ● ファイルやフォルダの一覧を表示する ... 38
15 ● ファイルやフォルダを作成する 40
16 ● ファイルやフォルダを選択する 42
17 ● ファイルやフォルダを削除する 44
18 ● ファイルやフォルダを検索する 46
19 ● ファイルやフォルダの圧縮と解凍 48
20 ● DVD にデータを書き込むには 50

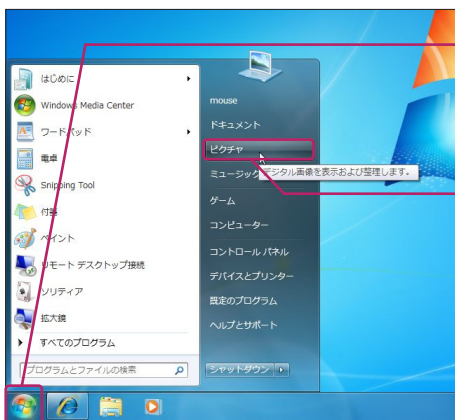
SECTION 13

フォルダーの中身を参照する

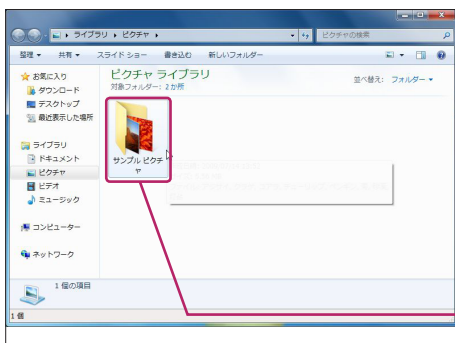
フォルダーをダブルクリックすることで、フォルダーの中身を参照することが出来ます。この作業が「フォルダーを開く」です。

- ☑ フォルダーを開いて中身を参照する
- ☑ ［進む］［戻る］のボタンでのフォルダー移動

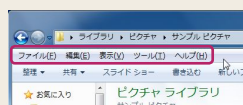
フォルダーの内容を参照する

step 1 ［スタート］⇒「ピクチャ」を選択

1 ［スタート］をクリックする

2 ［ピクチャ］をクリックする

step 2 ［ピクチャ］が開いた

ワンポイント

フォルダーのメニューの表示

画面上部に、フォルダーメニューを表示するには、「Alt」キーを押します。

▲メニューバーが表示される

step 3 ［サンプルピクチャ］フォルダが開く

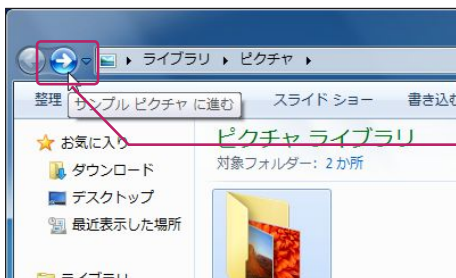
［サンプルピクチャ］フォルダーの内容が表示されました

［戻る］［進む］ボタンでのフォルダの移動

step 1 ［戻る］ボタンをクリック

一つ前のフォルダーに表示を戻してみましょう

［戻る］ボタンをクリックする

step 2 一つ前のフォルダが表示される

一つ前のフォルダーが表示されます

［進む］ボタンをクリックする

戻る前のフォルダーに進みました

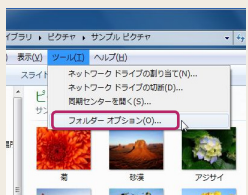
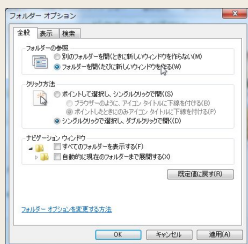
テクニック

フォルダーごとに、新しいウィンドウを開いて表示する

［ツール］⇒［フォルダーオプション］を選択し、［全般］タブの中の［フォルダーの参照］で［フォルダーを開くたびに新しいウィンドウを作る」にチェックを入れると、フォルダーを開くたびに新しいウィンドウが開くようになります。

▲［フォルダーオプション］をクリック

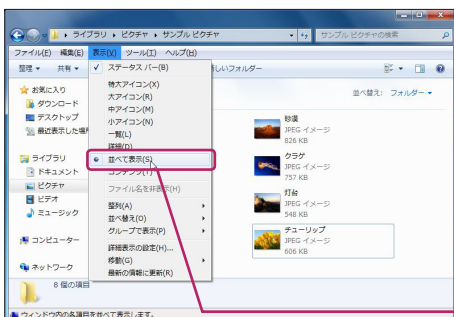
▲［フォルダーを開くたびに新しいウィンドウを作る］にチェックを入れる

SECTION

14 ファイルやフォルダーの一覧を表示する

ファイルやフォルダーをダブルクリックすると、内容の一覧が表示されます。表示方法には、様々なものがあります。

- ☑ファイルやフォルダーの各表示形式について
- ☑ファイルやフォルダーの表示方法の変更について
- ☑データの並び替え・自動整列

ファイル・フォルダーの表示形式

step 1 並べて表示

ファイルやフォルダーが整列して表示されます

［表示］メニューより、［並べて表示］を選択

step 2 アイコン

ファイルやフォルダーがアイコンとして表示されます

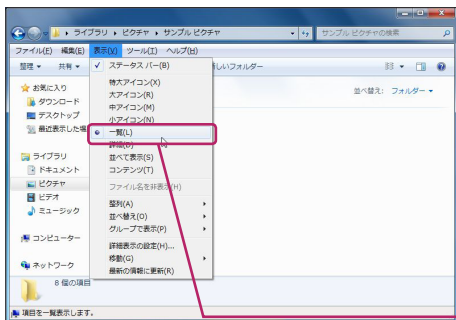
［表示］メニューより、
・［特大アイコン］
・［大アイコン］
・［中アイコン］
・［小アイコン］
いずれかを選択

テクニック

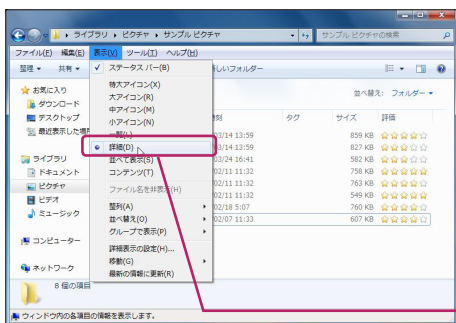
ツールバーの表示スライダーから表示形式を選択する

ツールバーの［表示］ボタンをクリックし、［表示スライダー］で表示形式を切り替えることも出来ます。

▲［表示］ボタンと［表示スライダー］

step 3 一覧

ファイルやフォルダーの表示が小さくなり、一覧として表示されます

［表示］メニューより、［一覧］を選択

step 4 詳細

ファイルやフォルダーの形式やサイズなどを詳細表示します

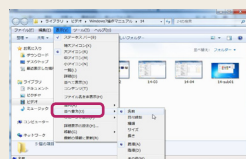
［表示］メニューより、［並べて表示］を選択

テクニック

データの並び替え

［表示］メニュー⇒［並び替え］より、ファイルを並び替えることが出来ます。［名前］［サイズ］、［撮影日］［タグ］［評価］など、様々な基準で並び替えることが出来ます

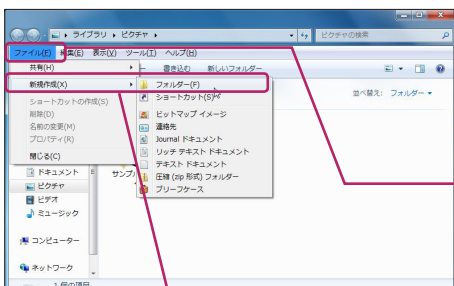
▲［並び替え］

SECTION 15

ファイルやフォルダーを作成する

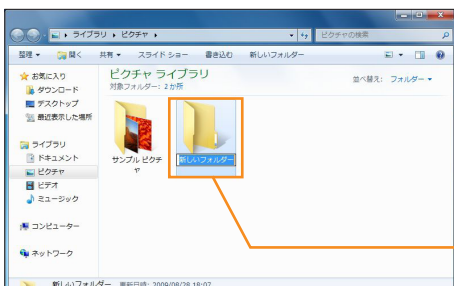
新しいファイルやフォルダーを使いたい場合は、新規作成する必要があります。ファイルやフォルダーを新規作成してみましょう

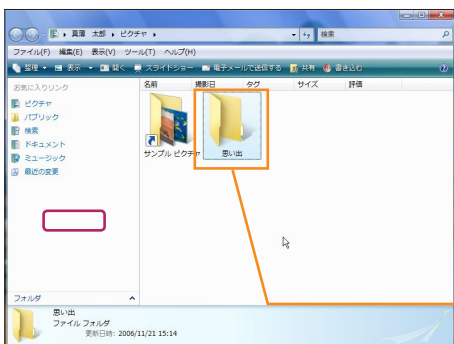
☑フォルダー・ファイルを新規作成する方法
☑フォルダー・ファイルの名前を変更する方法

フォルダを作成

step 1 フォルダを作成する場所を開く

例として［ピクチャ］内に新しくフォルダーを作成します

1［ピクチャ］フォルダを開いて［ファイル］をクリック

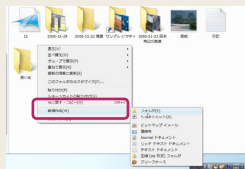
2［新規作成］⇒［フォルダ］の順にクリック

［新しいフォルダ］が作成されました

step 2 フォルダの名前を変更する

フォルダ名として「思い出」と入力し、「Enter」キーを押す

［思い出］フォルダが作成されました

テクニック

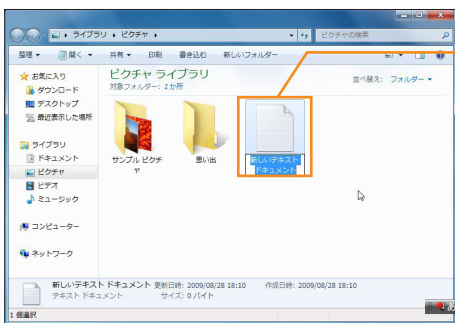
右クリックでフォルダー・ファイルを新規作成

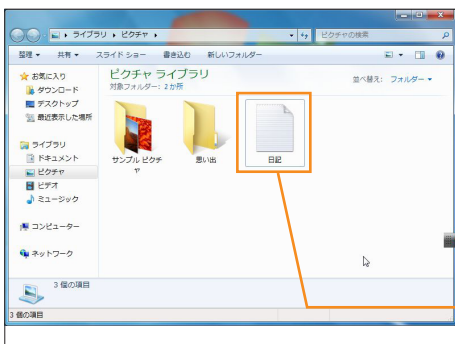
フォルダやデスクトップの開いている場所で右クリックをし、［新規作成］⇒［作成したいもの］をクリックすることでも、フォルダやファイルを新規作成することが出来ます。

▲［右クリック］⇒［新規作成］から、作成したいものをクリックする。

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

ファイルを作成する

step 1 ファイルを作成する場所を開く

step 2 ファイルが新規作成された

[新しいテキストドキュメント]が作成されました

step 3 ファイル名を変更する

ファイル名が青く反転している状態で「日記」と入力し､「Enter」キーを押します

「日記」と言う名前のテキストファイルが作成されました

ワンポイント

作成したファイルの編集

ここで作成したテキストドキュメントは、何も入力されていない空の状態です。作成したファイルをダブルクリックすると、ワードパッドが起動しますので、ここから内容の編集、保存を行ってください。

ワンポイント

アプリケーションでのファイル新規作成

ワードパッドで内容を編集後、[名前をつけて保存]から、ファイルに名前をつけて保存した場合は、その名前のファイルが新規作成されることになります。通常は、この方法で新規ファイルが作成されます。

注意

同じ名前のファイル、フォルダーは作成できない

一つのドライブ、およびフォルダー内に、同じ名前のファイル、フォルダーを2つ作成することは出来ません。同じ名前のファイルを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。同じ内容のファイルを同じフォルダに保存する場合は、末尾に一文字文字を加えるなどして、ファイル名を別のものにする必要があります。

SECTION 16

ファイルやフォルダーを選択する

ファイルやフォルダーを操作するためには、ファイルやフォルダーを選択しなければなりません。ファイルやフォルダーの選択方法を説明します。

- ☑ 操作したいファイルを選択する
- ☑ 連続したファイルを一度で選択する
- ☑ ファイルをすべて選択する

ファイルを一つ選択する場合

step 1 選択するファイルをクリックする

ファイルをクリックする

step 2 ファイルが選択される

そのファイルが選択される

選択されるたファイルは青く反転します

何もない場所をクリック

テクニック

離れた場所にある複数のファイルを選択する場合

▲最初のファイルをクリック

▲その他のファイルを「Ctrl」キーを押しながらクリック

テクニック

範囲指定で複数のファイルを選択する

▲選択したいファイル範囲をドラッグする

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

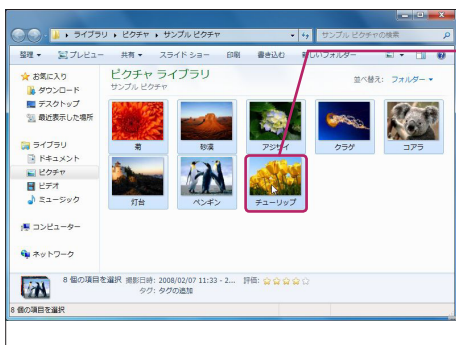
step 3 選択が解除された

選択が解除されます

連続している複数ファイルを選択する

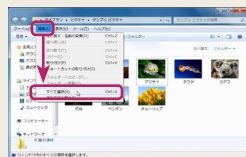
step 1 始めのファイルをクリック

始めのファイルをクリック

step 2 連続しているファイルが複数選択できた

最後のファイルを「Shift」キーを押しながらクリックする

連続しているファイルが選択されます

テクニック

すべてのファイルを選択する場合

▲［編集］メニューから［すべて選択］をクリック

▲すべてのファイルが選択されます

テクニック

個別に選択を解除する

▲選択を解除したいファイルを「Ctrl」キーを押しながらクリック

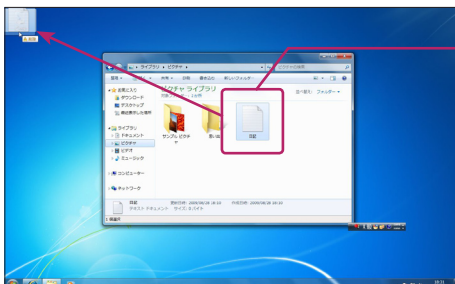
SECTION 17

ファイルやフォルダーを削除する

不要になったファイルやフォルダーは削除して、整理しましょう。ファイルの削除は、不要なファイルをごみ箱へドラッグします。

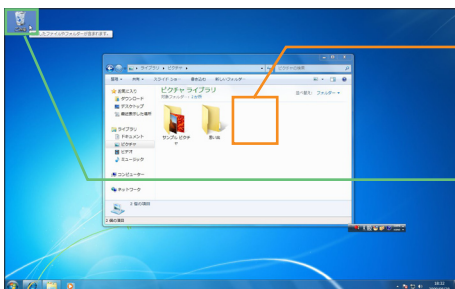
- ☑ファイルやフォルダーの削除
- ☑ごみ箱からファイルを完全に削除する

ファイルを削除する

step 1 削除するファイルを［ごみ箱］にドラッグする

削除したいファイルを［ごみ箱］にドラッグ

［ごみ箱］が選択状態になります

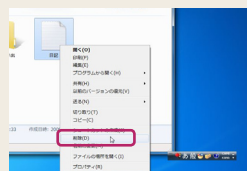
マウスのボタンを離してドロップします

step 2 ファイルが削除された

ファイルが消えます

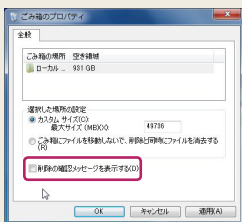
［ごみ箱］の形が変わります

フォルダも同様に削除できます

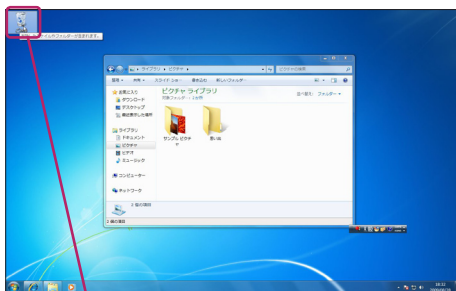
テクニック ファイルを削除する

ファイルを右クリックして表示されるショートカットから［削除］をクリックしても、ファイルを削除できます。

▲［削除］をクリック

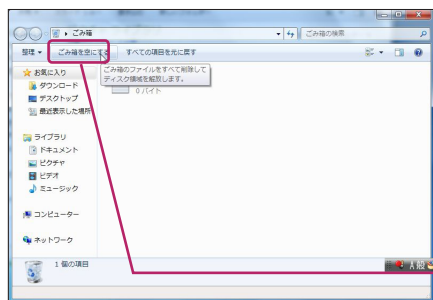
テクニック 削除の際に、確認メッセージを表示しない

ファイルを削除する際に表示される確認メッセージは、［ごみ箱］を右クリックし［プロパティ］を開き､「削除の確認メッセージを表示］をオフにすると表示されなくなります。

▲［削除の確認メッセージを表示する］のチェックを外す

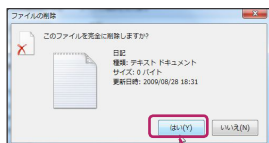
ファイルを完全に削除する

step 1 ［ごみ箱］の中身を表示する

［ごみ箱］に入ったファイルを完全に削除してみましょう

［ごみ箱］をダブルクリックする

step 2 ［ごみ箱］が開いた

［ごみ箱］の中身が表示される

［ごみ箱を空にする］をクリックする

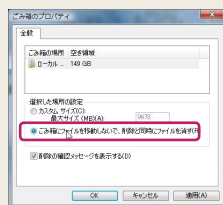
step 3 削除の確認メッセージが表示されます

確認のダイアログボックスが表示されます

［はい］をクリックする

［ごみ箱］からファイルが完全に削除されます

テクニック

ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す

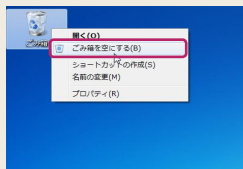
通常、削除したファイルは一度ごみ箱に移動します。［ごみ箱］アイコンを右クリック⇒［プロパティ］⇒［ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す］にチェックを入れると、ごみ箱にファイルを移動することなく、パソコン上から直接ファイルを削除することが出来るようになります。ただし、この方式でファイルを削除すると、ファイルを間違って削除した場合に復元が出来ないので、注意してください。

▲［ごみ箱にファイルを移動しないで、削除と同時にファイルを消す］にチェックを入れる

テクニック

ごみ箱を空にする方法

［ごみ箱］を右クリックして表示されるメニューから、［ごみ箱を空にする］を選択してもごみ箱を空に出来ます。

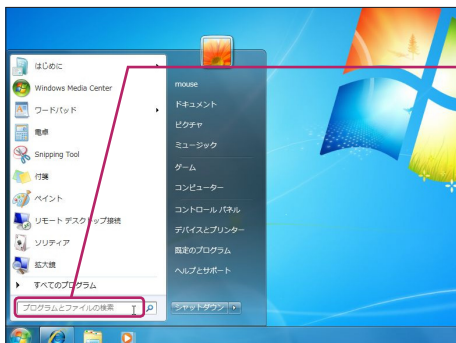
▲［ごみ箱を空にする］をクリック

SECTION 18

ファイルを検索する

ファイルが見つからない場合などは、ファイルの検索機能を活用し、目的のファイルを見つけることが出来ます

☑ファイル名からファイルの検索を行う
☑ファイルに含まれる文字から、ファイルの検索を行う

ファイル名からファイルの検索を行う

step 1 ［スタート］メニューから［検索の開始］をクリックする

［スタート］ボタンをクリックして、［プログラムとファイルの検索］をクリック

step 2 検索ワードを入力する

1 検索ワードを入力する

2 検索ボタンをクリックする

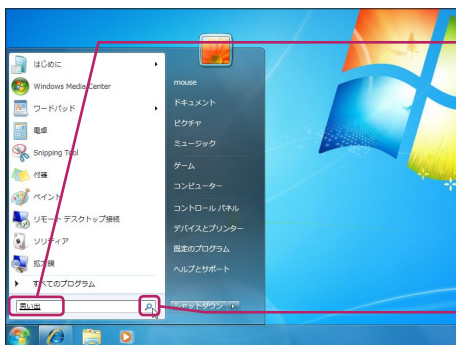
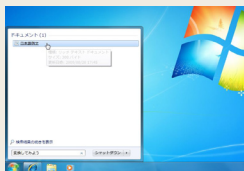
ワンポイント

ファイル名の一部でも検索は可能

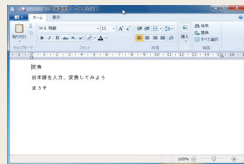
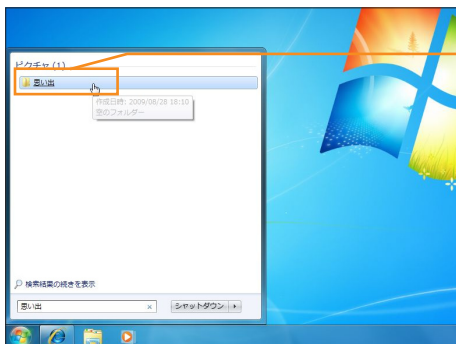
ファイル名をすべて入力せず、一部のみを入力してもファイルの検索は可能です

テクニック

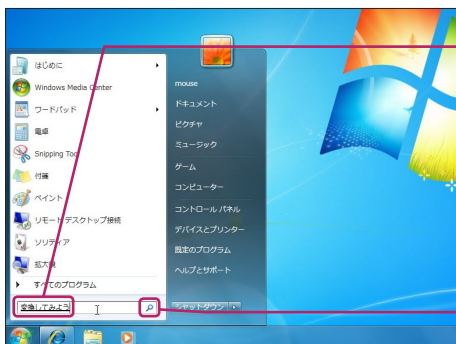
検索したファイルを直接開く

検索結果欄に表示されたファイルをダブルクリックすると、ファイルを直接開くことが可能です。

▲検索にヒットしたファイルをダブルクリック

▲ファイルが開く

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

step 3 検索結果が表示された

検索結果が表示されました

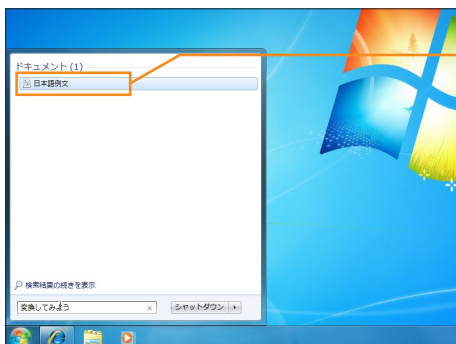
ファイルに含まれる文字で検索を行う

step 1 検索ワードを入力し、検索ボタンをクリックする

1 検索ワードを入力する

2 検索ボタンをクリックする

step 2 検索結果が表示される

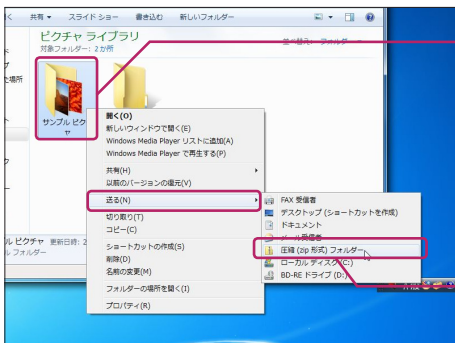
検索結果が表示されました

SECTION 19

ファイルやフォルダーの圧縮と解凍

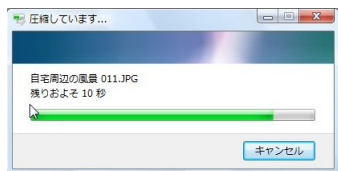
ファイルやフォルダーは「圧縮」と呼ばれる作業を行うことで、容量を減らすことが出来ます。ここでは、フォルダーの圧縮と解凍について説明します。

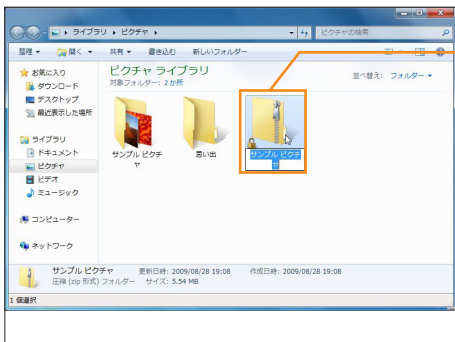
☑ファイル・フォルダーの圧縮
☑ファイル・フォルダーの解凍

フォルダーを圧縮する

step 1 圧縮したいフォルダーを右クリックする

1 圧縮したいフォルダーを右クリックする

2 メニューの中から［送る］⇒［圧縮（zip形式）フォルダー］をクリック

step 2 フォルダーの圧縮が開始される

フォルダーの圧縮が開始されます。そのままお待ちください

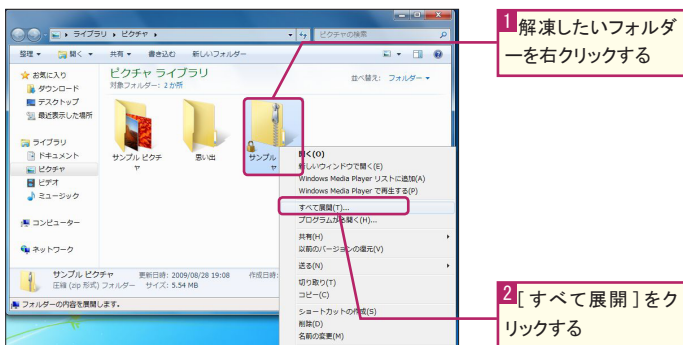
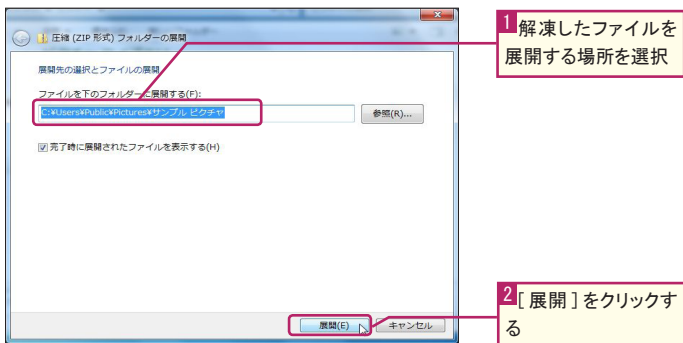
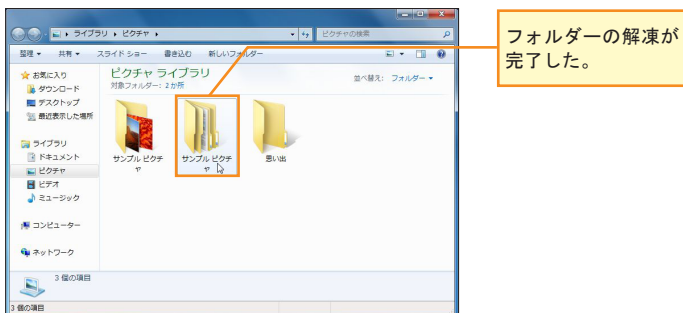
step 3 フォルダーの圧縮が完了する

フォルダーの圧縮が完了し、圧縮したフォルダーが作成されました

ワンポイント

圧縮ファイルとは

圧縮ファイルは、圧縮されていないファイルに比べて使用する記憶域が少なく、他のコンピュータへの転送時間もより短くなります。圧縮ファイルと圧縮フォルダは、圧縮されていないファイルやフォルダーと同じように扱うことができます。また、複数のファイルを 1 つの圧縮フォルダーとしてまとめることができます。こうすることにより、電子メール メッセージの添付が複数のファイルではなく 1 つのフォルダーだけで済むため、複数ファイルの共有がより容易になります。

圧縮したフォルダーを解凍する

step 1 解凍したいフォルダーを右クリックする

step 2 解凍するフォルダーの展開先を選択する

step 3 フォルダーが解凍される

ワンポイント

圧縮の形式

　ファイルを圧縮する形式には、zipのほかに、LZH、RARといった形式があ有ります。WindowsVistaで圧縮・解凍を行えるのはzip形式のみとなります。他の圧縮形式を使用するには、別途アプリケーションを使用する必要があります。

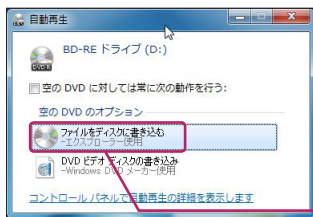
SECTION 20

DVDにデータを書き込むには

WindowsVistaでは、DVD-R/RWメディアにデータを書き込む機能があります。DVD-Rに、データを書き込んでみましょう。

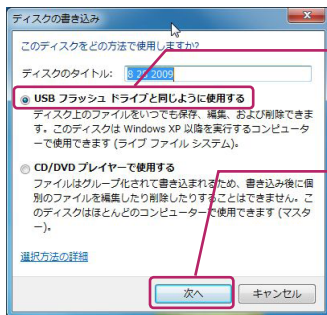
- ☑ DVD-R/-RWにデータを書き込む
- ☑ CD-R/RWにデータを書き込む
- ☑ ライティングソフトを使用した書き込み

DVD-Rにデータを書き込む準備をする

step 1 空のDVD-Rメディアを光学ドライブに挿入する

空のDVD-Rメディアを光学ドライブに挿入します

［自動再生］メニューが起動します

［ファイルをディスクに書き込む］をクリック

step 2 ディスクの使用方法を選択する

1 ［USBフラッシュドライブと同じように使用する］を選択する

2 ［次へ］をクリック

step 3 ディスクのフォーマットが開始されます

ディスクのフォーマットが開始されます

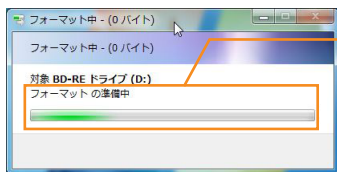
ワンポイント

CD-Rに書き込みも出来る

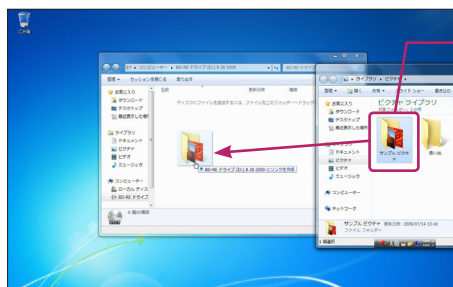
DVD-Rに書き込むのと同様の操作で、CD-Rにデータを書き込むことが出来ます。書き込むデータの容量により、メディアを使い分けましょう。

ワンポイント

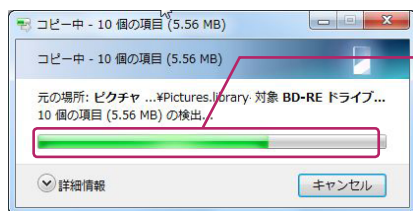
データファイルの書き込み

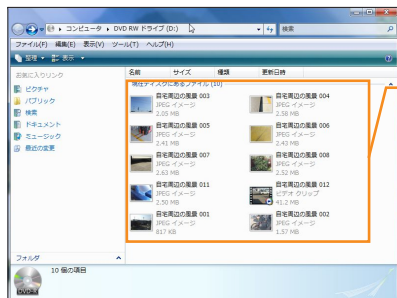
ここではデータファイルを直接DVD-Rに書き込む方法を説明しています。大切なデータをバックアップしたい場合などは、WindowsVistaのバックアップ機能を使うほかに、ここで示したように直接データファイルをDVD-Rに書き込む方法もあります。一つ一つ書き込みたいファイルを確認しながら書き込む場合などは、こちらの方が便利です。

DVD にデータを書き込む

step 1 [フォルダーを開いてファイルを表示] をクリック

step 2 DVD に書き込みたいファイルを選択

1 書き込みたいファイルを選択し

2 書き込み領域にドラッグする

step 3 DVD の書き込みが開始される

DVD の書き込みが開始されます

step 3 DVD の書き込みが完了する

ファイルが DVD に書き込みされました

ワンポイント

ライティングソフトを使用した書き込み

　WindowsVista では、標準で CD/DVD メディアへの書き込み機能をサポートしていますが、より詳細な設定を行いメディアの書き込みを行いたい場合や、ブルーレイディスクなどの新しい規格のメディアにデータを書き込みたい場合は、市販のライディングソフトと呼ばれる書き込みソフトを別途使用する必要があります。

CHAPTER 4

インターネットとメール

本章では、Internet Explorer 8.0 を使用した Web 閲覧と、Windows メールを使用した電子メールの活用について説明します。

21 ● Internet Explorer 8.0 の起動・終了 . . . 54
22 ● Internet Explorer 8.0 の画面構成 56
23 ● ホームページを参照する 58
24 ● タブブラウザ機能について 60
25 ● ホームページをお気に入りに登録する . . . 62
26 ● WindowsLive メールのインストール 64
27 ● WindowsLive メールの初回設定 68
28 ● メール本文の作成 70
29 ● メールを送信する 72
30 ● アドレス帳にメールアドレスを登録する . . 74
31 ● アドレス帳から宛先を入力する 76

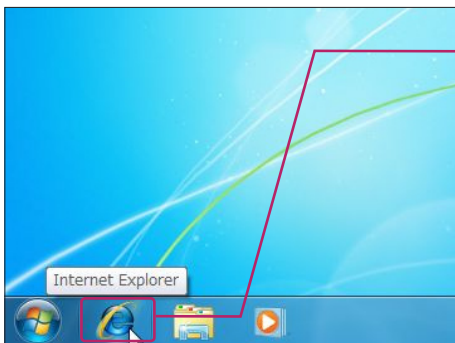
SECTION 21

InternetExplorer8.0の起動・終了

InternetExplorer8.0 は、インターネット閲覧を行うための基本ブラウザソフトです。まずは、InternetExplorer8.0 を起動・終了してみましょう。

- ☑ InternetExplorer8.0 を起動してみる
- ☑ InternetExplorer8.0 を終了してみる

InternetExplorer8.0 を起動する

step 1 タスクバーのアイコンをクリックする

1 タスクバー上にある、[InternetExplorer]のアイコンをクリックする。

step 2 InternetExplorer8.0 が起動する

InternetExplorer8.0が起動します

InternetExplorer7.0 を終了する

step 1 ［閉じる］ボタンをクリック

［閉じる］ボタンをクリックする

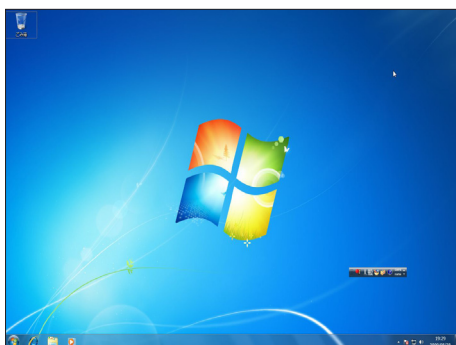
step 2 InternetExplorer8.0 が終了しました

InternetExplorer8.0 が終了しました

テクニック

InternetExplorer8.0 を終了する

［ファイル］メニュー⇒［閉じる］をクリックする事でも、InternetExplorer8.0 を終了することが出来ます。

SECTION 22

InternetExplorer8.0の画面構成

InternetExplorer8.0 の画面構成を確認しましょう

☑ InternetExplorer8.0 の画面構成
☑ 各機能の役割

InternetExplorer8.0

タイトルバー

現在表示されているホームページの名前が表示されます。オフライン時には、[オフライン作業]と表示されます。

[進む][戻る]ボタン

一つ前のホームページを表示したり、戻ったりする際に使用します。

メニューバー

各メニューを表示します。メニュー名をクリックすることで、プルダウンメニューが表示され、操作を選択することが出来ます。

アドレスバー

現在表示されているホームページのアドレスが表示されます。ここにアドレスを直接入力することにより、ホームページに移動することが出来ます

タブ

複数ホームページを、一つのブラウザ画面内で切り替える［タブブラウザ機能］のタブ項目です。複数ホームページがタブにより開かれている場合は、各タブにホームページ名が表示されます

検索フォーム

インターネットの検索を行います

ツールバー

一般的な機能がボタン形式で登録されています。ボタンをクリックすることにより、ホームページに移動したり、プリントを行ったり各種コマンドを実行できます。

表示エリア

ここに、ホームページの内容が表示されます。

セキュリティゾーン

現在表示されているホームページのセキュリティレベルを表示します。

ズームボタン

ホームページの表示拡大率をここで調整できます。

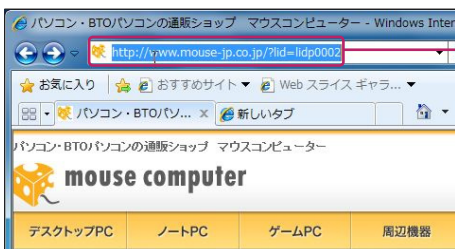
SECTION 23

ホームページを参照する

アドレスバーに直接アドレスを入力し、ホームページを表示したり、リンクをクリックしてホームページを表示してみましょう。

- ☑ 直接 URL を入力してホームページを表示する
- ☑ リンク先をクリックしてホームページを表示する
- ☑ 【戻る】【進む】ボタンでページを移動する

アドレスバーに URL を直接入力する

step 1 アドレスバーをクリックする

アドレスバーをクリックする

アドレスバーの URL が選択状態になります

step 2 URL を直接入力する

アドレスバーに URL を直接入力し、「Enter」キーを押す。

step 3 ホームページが表示されます

しばらくすると、ホームページが表示されます

ワンポイント

URL とは

URL とは、ホームページのアドレスの事を言います。URL の入力が、一文字でも間違っていると、ホームページを正しく表示することが出来ません。大文字、小文字の区別もされるので、しっかり確認しながら入力を行ってください。

注意

「ページが表示できません」と表示された場合

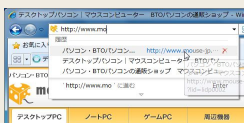
URL の入力が間違っているか、指定したホームページが削除されてしまっている可能性があります

ワンポイント

オートコンプリート機能

一度入力した URL は、すべて記憶されます。以前入力した URL を途中まで入力すると、候補の一覧がプルダウンで表示されます。

▲↑↓キーで候補を選択

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

リンク先を表示する

step 1 アドレスバーをクリックする

1 リンク先にマウスポインタを合わせる

マウスポインタが手の形に変わる

リンク先の URL が表示される

2 マウスをクリック

step 2 リンク先が表示される

リンク先のホームページが表示されます

【戻る】【進む】ボタンでページを移動する

step 1 【戻る】ボタンをクリックする

【戻る】ボタンをクリックする

step 2 一つ前のホームページが表示される。

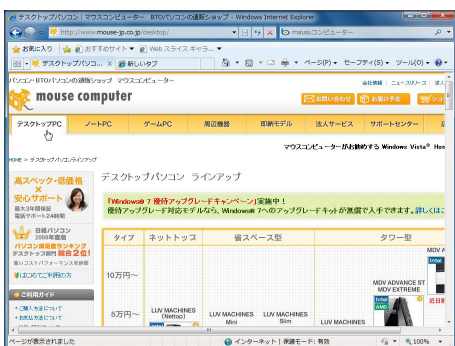
一つ前のホームページが表示されます

【進む】ボタンをクリックする

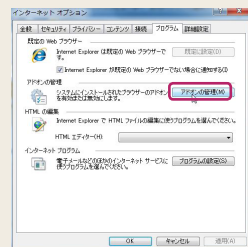
戻る前のホームページが表示されます

ワンポイント

過去に入力した URL よりアドレスを選択する

過去に入力した URL は、アドレスバーの右端にある▼ボタンをクリックすることにより一覧表示させることが出来ます

テクニック

不要なアドオンを無効にする

アドオンとは WEB ブラウザの機能を強化するものですが、これがインターネット閲覧の障害になることもあります。[ツール] メニュー⇒「インターネットオプション」⇒「プログラム」タブ⇒「アドオンの管理」で、不要なアドオンを無効に切り替えることが出来ます。

▲ [プログラム] タブの [アドオンの管理] をクリック

▲不要なアドオンを無効にする

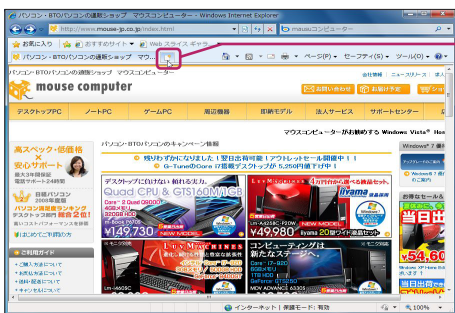
SECTION 24

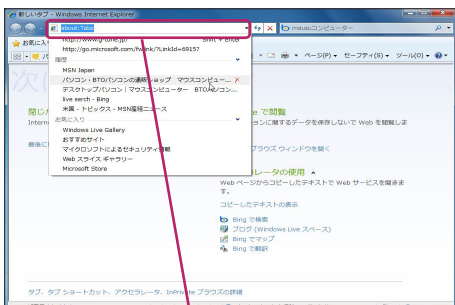
タブブラウザ機能について

InternetExplorer8.0 には、一つのブラウザ内で複数のホームページを閲覧することが出来る、タブブラウザ機能が搭載されています。

- ☑ 新しいタブでホームページを開く
- ☑ タブを閉じる
- ☑ クイックタブ機能

新しいタブを開く

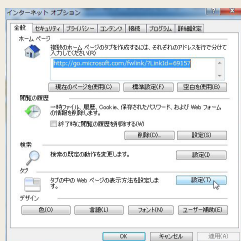
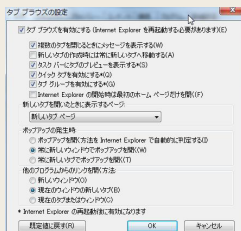
step 1 「新しいタブ」ボタンをクリックする

「新しいタブ」ボタンをクリックする

step 2 新しいタブが開く

新しいタブが開きます

アドレスバーから URL を指定して、「Enter」を押す

テクニック

タブの詳細設定

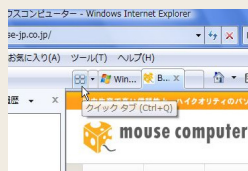
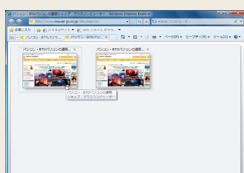
［ツール］⇒「インターネットオプション」⇒「全般」タブ⇒「タブ」の右にある「設定」ボタンをクリックすることで、タブ機能の詳細を設定することが出来ます。

▲「タブ」の右にある「設定」ボタンをクリック

▲「タブ」機能の詳細を設定することが出来る

step 3 新しいタブ上でホームページが開く

新しいタブ上で指定したホームページが開きます

テクニック

クイックタブ機能

タブの左側にある「クイックタブ」ボタンをクリックすると、現在開いているタブを一覧から選択することが出来ます。

▲「クイックタブ」ボタン

▲一覧より、タブを選択することができる

タブを閉じる

step 1 「タブを閉じる」ボタンをクリックする

「タブを閉じる」ボタンをクリックする

タブが閉じます

タブを移動する

step 1 移動したいタブをクリック

移動したいタブにカーソルを合わせクリック

タブが移動します

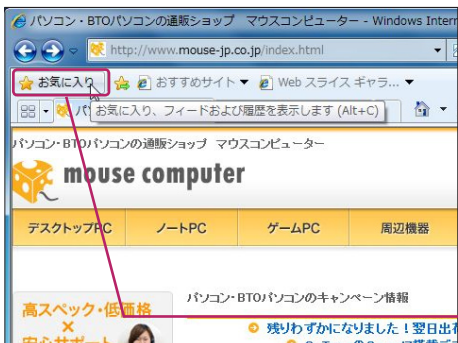
SECTION 25

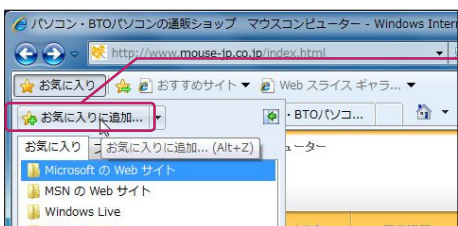
ホームページを「お気に入り」に登録する

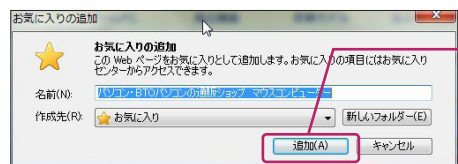
ホームページを「お気に入りに登録しておくことにより、たびたび訪問するホームページへのアクセスが容易になります。

☑ ホームページを［お気に入り］に登録する
☑［お気に入り］に登録したページにアクセスする

ホームページをお気に入りに登録する

step 1 お気に入りに登録したいページを表示

［お気に入り］に登録したいページを表示しておきます

1［お気に入り］をクリック

2［お気に入りに追加］をクリック

step 2 ［お気に入りに追加］ダイアログボックスが開く

［追加］ボタンをクリック

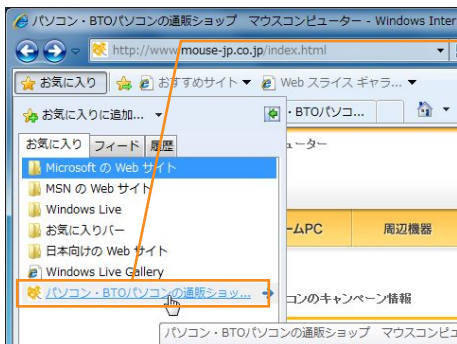
テクニック

お気に入りに登録する方法

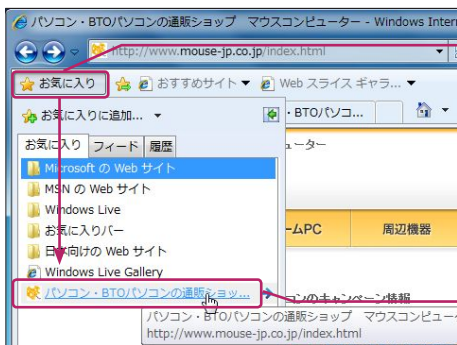
ホームページ上で右クリック⇒「お気に入りに追加」を選択しても、お気に入りにホームページを追加することが出来ます。

▲右クリック⇒お気に入りに追加

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

step 3 お気に入りにホームページが追加された

ホームページがお気に入りメニューの中に追加されました

お気に入りのページを表示する

step 1 ［お気に入り］からホームページをクリックする

step 2 クリックしたページが表示される

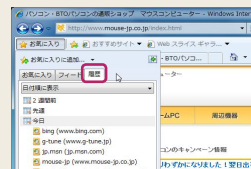
クリックしたページが表示される

テクニック

履歴を表示する

お気に入りエクスプローラ上部にある、「履歴」タブをクリックすることで、これまで参照したWEBページの、履歴の一覧を表示することができます。

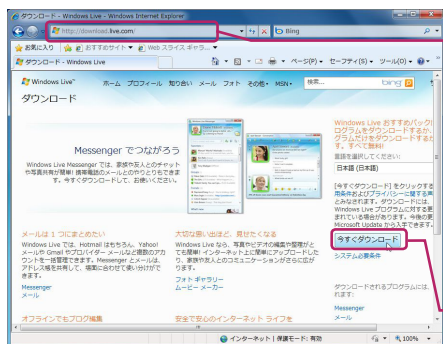
▲［履歴］タブをクリック

SECTION 26

WindowsLive メールのインストール

Windows7 では、標準でメールソフトが搭載されておりません。ここでは、メールソフトの一つである WindowsLive メールについて説明します。

- ☑ Windows Live メール をダウンロードする。
- ☑ Windows Live メール をインストールする。

Windows Live Mail をダウンロードする

step 1 [http://download.live.com] にアクセスする

1 [http://download.live.com] にアクセス

2 [今すぐダウンロード] をクリックする

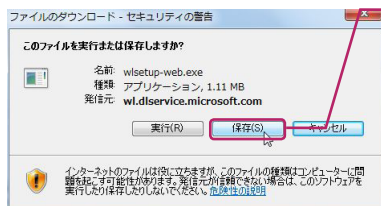
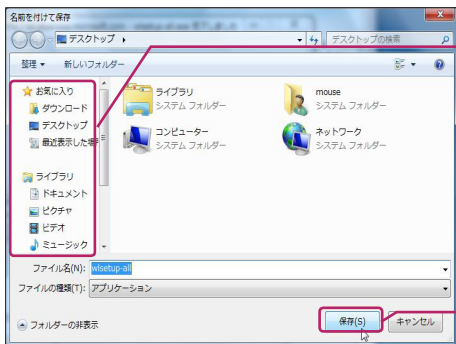
step 2 ファイルをダウンロードする

1 [保存] をクリックする

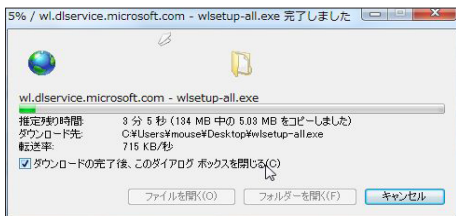
ワンポイント

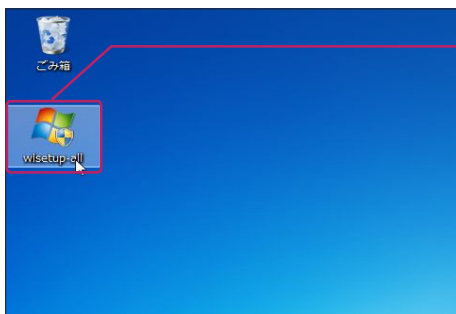
メールソフトについて

WindowsXP では [Outlook Express] が、WindowsVista においては、[WindowsMail] が、OS 標準のメールソフトとして搭載されていました。しかし、Windows7 で、OS 標準でメールソフトが搭載されておらず、メールソフトを使用する場合には、ユーザーが好みのメールソフトを選択、インストールする必要があります。

ここでは従来の Windows 標準メールソフトに近い操作感の、Windows Live Mail を紹介しておりますが、お好みに応じてメールソフトを選択してください。

step 3 保存場所を選択し、ファイルを保存する。

1 保存場所を選択する

2 [保存] をクリックする

step 4 ダウンロードが開始される

ダウンロードが開始されます。完了までお待ちください。

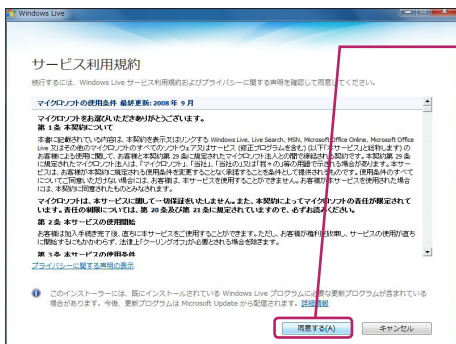
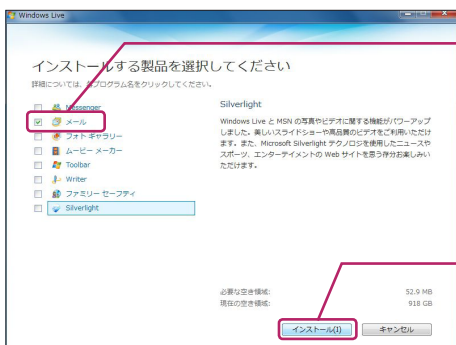
step 5 [wlsetup-all] をダブルクリックする

1 [wlsetup-all] をダブルクリックする

ワンポイント

WindowsLive ツールに関して

WindowsLive ツールは、マウスコンピューターにて OS セットモデルを購入された場合、もしくは Windows7 優待アップグレードキャンペーンにて Vista からのアップグレードを行った場合には、標準でインストールされています。別途、本章の手順に沿ってインストールを行う必要はありません。

OS 無しモデルをご購入頂き、ご自身で購入した WIndows7 製品版のメディアを使用して OS をインストールした場合や、DSP 版 Windows7 を PC 本体とセットで購入別途した場合には、本章の手順に従ってインストールを行う必要があります。

step 6 ［サービス利用規約］が表示される。

step 7 メールアカウントの設定完了

step 8 インストールが開始されます

ワンポイント

Windows Live Toolsについて

Windows LIve Toolsには、メール以外にも、メッセンジャー、画像ビューアー、動画編集ソフトなど、便利なソフトが用意されています。http://download.live.com/にて、各ソフトウェアの機能詳細が掲載されておりますので、参照の上、必要に応じてインストールを行ってください。

step 9 「もう少しで完了です」と表示される。

step 10 [WindowsLive へようこそ] 画面を開く

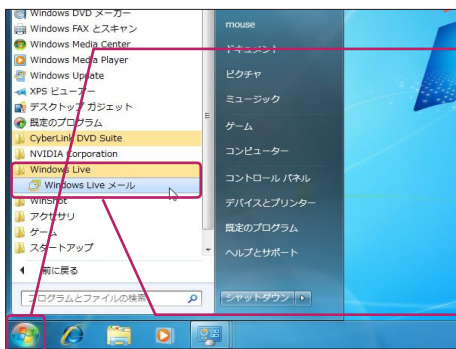
SECTION 27

WindowsLive メールの初回設定

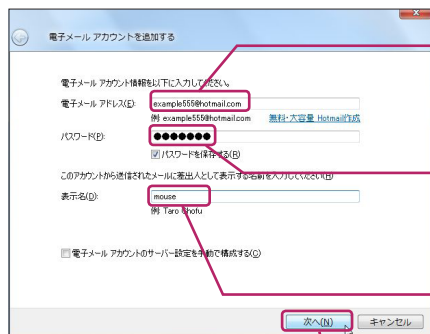
WindowsLive メールでは、初回起動時にメールアドレスの設定が必要です。その設定方法をここでは説明します。

☑ WindowsLive メールの初回設定

WindowsLive メールを起動する

step 1 WindowsLive メールを起動する

1 [スタート] ボタンをクリック

2 Windows Live メールをクリックする。

step 2 電子メールアカウントの設定画面が表示される

1 使用するメールアドレスを入力する

2 パスワードを入力する

3 [OK] ボタンをクリック

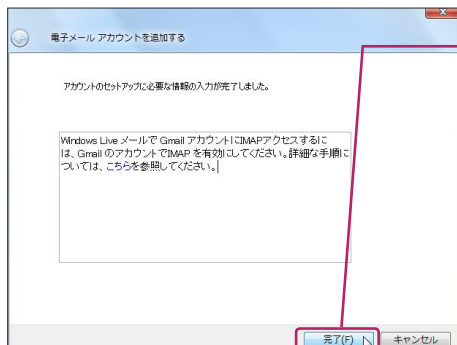
4 [次へ] ボタンをクリック

ワンポイント

メールアドレスについて

使用するメールアドレスは、事前にインターネットサービスプロバイダと契約し、提供されたものか、WEB メールサービスにて使用しているメールアドレスを設定することができます。事前にメールアドレスを準備し、設定を行ってください。

メール本分を作成する

step 3 セットアップが完了する

ワンポイント

宛先の入力について

宛先の欄には、送信先のメールアドレスを入力します。メールアドレスは半角英数文字で入力します。全角文字、半角カタカナでの入力は出来ませんので注意してください。

ワンポイント

アドレス帳から宛先を入力する。

宛先がアドレス帳に入力されている場合は、[宛先] ボタンをクリックして、アドレス帳から宛先を入力することが出来ます。

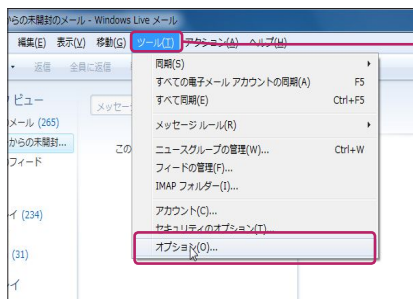
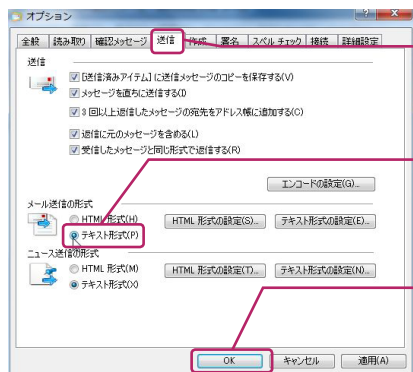
SECTION 28

メール本文の作成

WindowsLive メールを使用した、メール本文の作成方法を説明します。

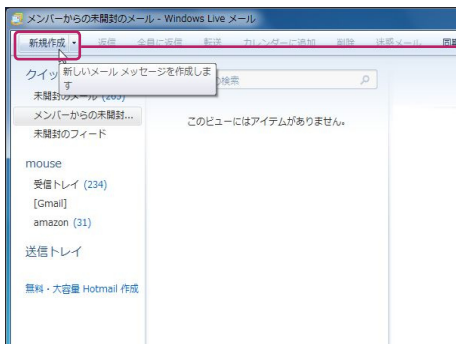
☑ メールの本文を作成する

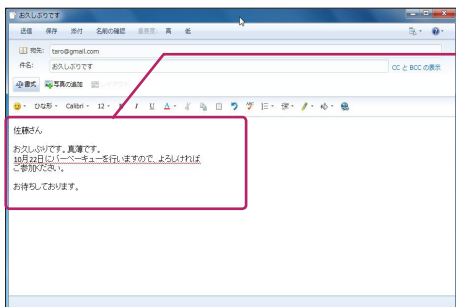
作成したメールを送信する

step 1 ［送信］ボタンを押す

step 2 確認のメッセージが表示される

ワンポイント

メールは一度送信トレイに入る

メール送信の形式には、テキスト形式と、HTML 形式の 2 種類があります。HTML 形式でのメールは、表現豊かなメールを作成できますが、受信側のメールソフトが対応していないと、正しく内容を表示できない場合があります。そのため、文章のみのメールを主に使用する場合は、メール送信の形式をテキスト形式に変更しておいた方が無難です。なお、初期設定ではメール送信の形式は「HTML 形式」になっています。

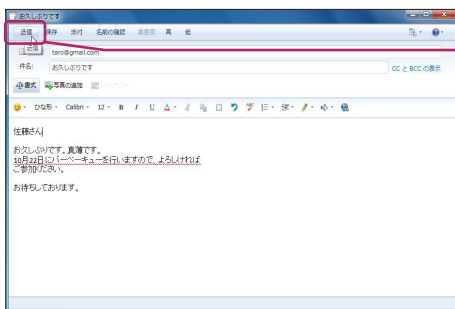
step 3 [新規作成] ボタンをクリックする

step 4 メール本文を記載する

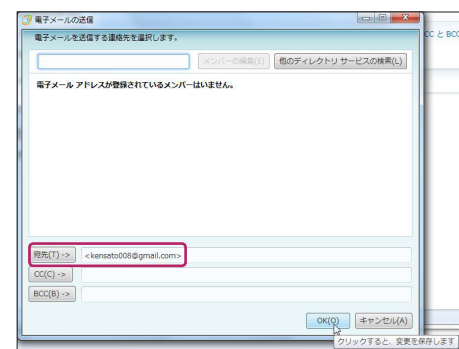
CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

メールを送信する

メールの作成に引き続き、メールを送信してみましょう。

☑ メールを送信する

メールを受信する

step 1 ［送信］ボタンをクリックする

［送信］ボタンをクリックする

step 2 あて先を設定する

1 あて先を設定する

2 ［OK］ボタンをクリックする

メールが送信されます

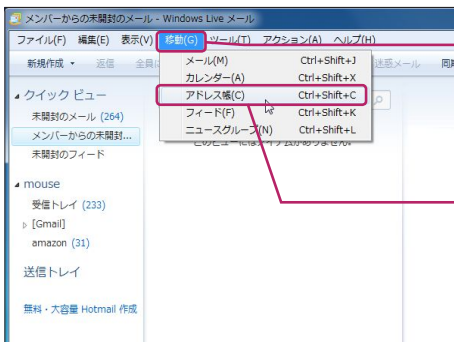
SECTION 30

アドレス帳にメールアドレスを登録する

アドレス帳にメールアドレスを登録することで、メールアドレスの入力をアドレス帳から簡単に行うことができるようになります。

- ☑アドレス帳にメールアドレスを登録
- ☑アドレス帳の内容を編集・削除する

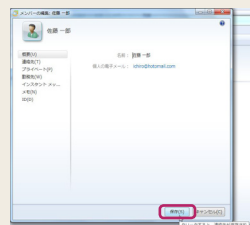
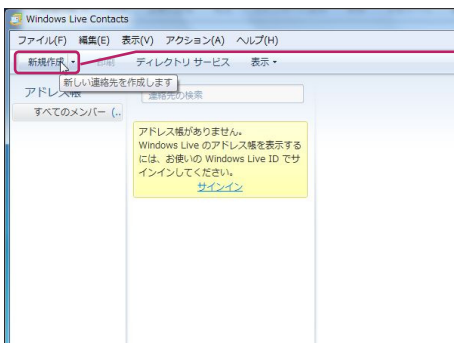
アドレス帳にメールアドレスを登録する

step 1 WindowsLive メールを起動する

step 2 アドレス帳が開く

テクニック

アドレス帳に登録した内容を変更する

アドレス帳から、変更したい宛先をクリックし、編集をクリックすることで、アドレス帳に登録した内容を変更することが出来ます。

▲修正したい宛先を選択し、[編集] をクリック

▲内容を編集し、[保存] をクリックする

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

step 3 アドレス帳の情報を入力する

step 4 アドレス帳に情報が追加される

アドレス帳に情報が追加された

テクニック

アドレス帳から宛先を削除したい場合

アドレス帳から削除したい宛先をクリックし、[削除] ボタンをクリックすることで、アドレス帳から宛先を削除することが出来ます。

▲削除したい宛先を選択し、[削除] ボタンをクリックする

SECTION 31

アドレス帳から宛先を入力する

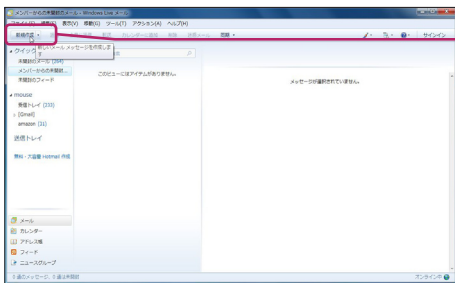
アドレス帳に登録した宛先を選択し、メールアドレスを入力してみましょう。

- ☑アドレス帳から宛先を入力する
- ☑「CC」と「BCC」欄について

アドレス帳から宛先を選択し入力する

step 1 WindowsLive メールを起動する

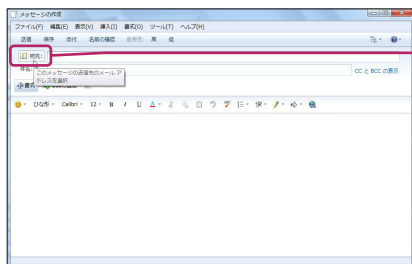
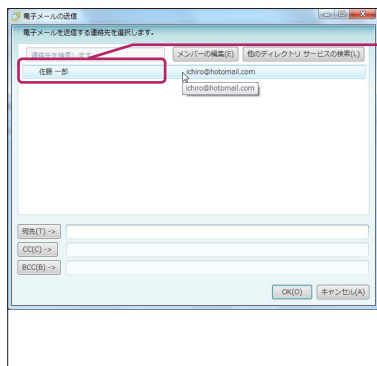
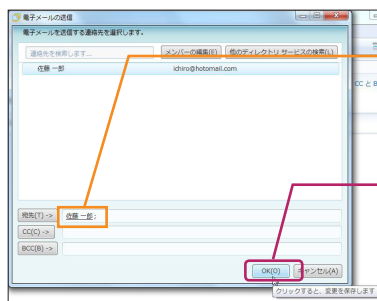
[新規作成] ボタンをクリック

step 2 メッセージの入力ウィンドウが開く

[宛先] ボタンをクリック

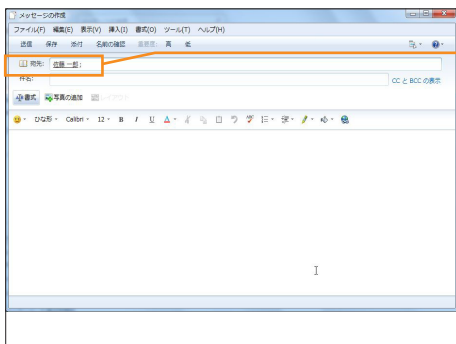
テクニック

アドレス帳の検索

アドレス帳画面の左上にある、検索ボックスに検索語句を入力することで、アドレス帳のデータを検索することができます。

▲検索ボックス

step 3 宛先に指定するアドレスを選択する

1 宛先に指定するアドレスをダブルクリックする

［宛先］に氏名が表示される

2［OK］ボタンをクリック

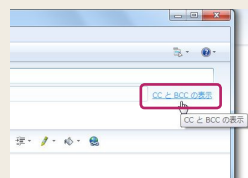
step 4 宛先が入力された

宛先欄に欄に宛先が表示される

ワンポイント

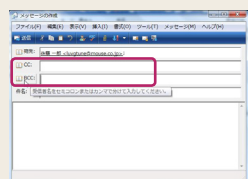
CC 欄と BCC 欄について

CC 欄は、同じ内容のメールを写しとして送りたい場合に宛先を入力する欄です。CC 欄に記入された宛先の人は、メールが送られてきた際に、同じ内容のメールが誰に送られたかを確認することが出来ます。

BCC 欄も、同じ内容のメールを写しとして送りたい場合に宛先を入力する欄ですが、BCC 欄に記入された宛先の人は、同じメールが他の誰に送られたかを確認することは出来ません。

WindowsLive メールの初期設定では、CC、BCC 欄は表示されていません。画面右上にある、［CC と BCC の表示］をクリックすることで、表示されます。

▲ CC と BCC の表示

▲［CC］［BCC］欄が表示される

CHAPTER 5

アプリケーションの追加と削除

本章では、アプリケーションのインストール、および削除の方法について説明します。

32 ●アプリケーションをインストールする . . . 80

33 ●プログラムの削除 82

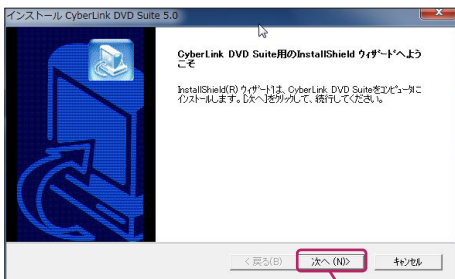
SECTION 32

アプリケーションをインストールする

パソコンを使用するにあたって、様々なアプリケーションをインストールすることが有ります。ここでは、インストールする方法を説明します

- ☑ アプリケーションのインストール
- ☑ オートインストール機能

アプリケーションをインストールする

step 1 アプリケーションの CD-ROM を光学ドライブに挿入する

セットアッププログラムが自動的に起動します。以後、画面の指示に従い、インストールを進めます

[次へ] ボタンをクリック

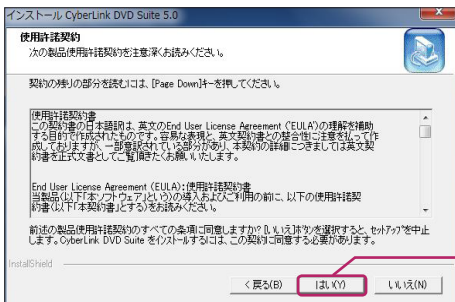
step 2 使用許諾契約の内容に同意する

1 使用許諾契約書の内容を読む

2 [はい] をクリック

ワンポイント

インストール

アプリケーションをコンピュータに組み込んで使用できる状態にすることを「インストール」もしくは「セットアップ」といいます。市販のアプリケーションパッケージを購入した場合などは、最初にインストール作業が必要です。インストール作業では CD-ROM から必要なファイルをパソコンにコピーしたり、アプリケーションをスタートメニューに登録したり、デスクトップにショートカットを作成したりします。

ワンポイント

オートインストール機能

オートインストール機能に対応したアプリケーションは、その CD をパソコンに挿入するだけで、自動的にセットアッププログラムが起動します。

注意

インストール方法について

ここで説明しているインストール手順はあくまで一例です。実際には、アプリケーションによりインストール画面、手順が異なります。詳しいインストール方法は、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

step 3 必要な情報を入力する

step 4 画面の指示に従って、作業を続行する

画面の指示に従ってインストール作業を続行します

step 5 インストールが完了するされる

インストール作業が完了します

ワンポイント

プリインストール

PC に元々インストールされているアプリケーションを、「プリインストールアプリケーション」と呼びます。

CHAPTER
1
2
3
4
5
6
7
8
9

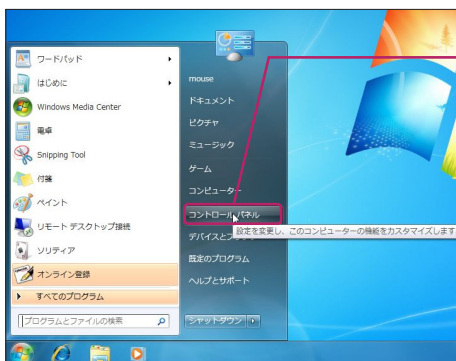
SECTION 33

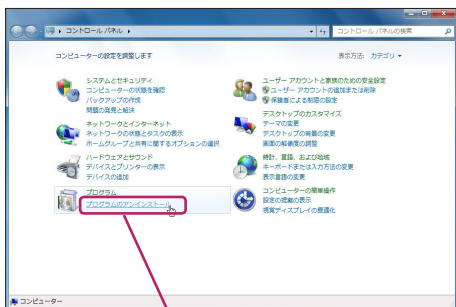
プログラムの削除

使わなくなったアプリケーションは、「コントロールパネル」から削除を行いましょう。

- ☑ アプリケーションを削除する
- ☑ 共有ファイルの削除

アプリケーションの削除

step 1 ［コントロールパネル］を開く

［スタート］メニューから［コントロールパネル］をクリック

step 2 ［プログラムのアンインストール］を選択

コントロールパネルが起動する

［プログラムのアンインストール］をクリック

ワンポイント

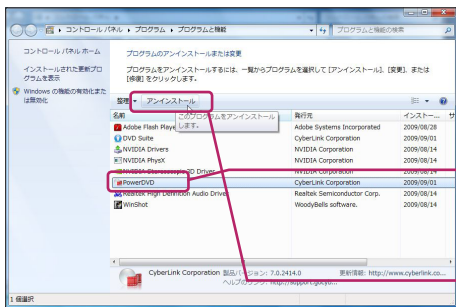
プログラムのアンインストール

プログラムのアンインストールを行うと、パソコン上からファイルが削除され、スタートメニューから削除されます。インストールの際にショートカットを作成していた場合は、ショートカットも削除されます。

ワンポイント

プログラムのアンインストールメニューからのアンインストール

プログラムによっては、スタートメニューのプログラムフォルダー内に、アンインストールプログラムが表示されている場合があります。この場合、このアンインストールプログラムをクリックすることでも、プログラムをアンインストールすることができます。

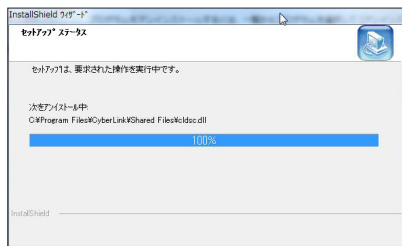
step 3 インストールされているプログラムが表示される

インストールされているプログラムの一覧が表示されます。

1 削除したいプログラムをクリックして選択

2 [アンインストール] をクリック

step 4 削除が実行される

確認メッセージが表示されます

[はい] をクリック

アンインストール作業が行われます

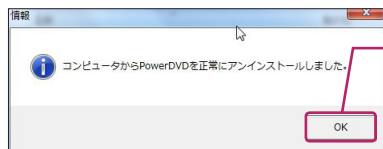
step 5 アプリケーションが削除された

[OK] をクリック

注意

共有ファイルの削除

アプリケーションのアンインストール時に、共有ファイルを削除するかどうかの確認メッセージが表示される場合があります。共有ファイルを削除すると、そのファイルを使用しているほかのアプリケーションが起動しなくなる恐れがあるので、共有ファイルの削除は慎重に行ってください。

CHAPTER 6

写真の活用

本章では、デジタルカメラで撮影した写真の取り込み、閲覧、印刷について説明します。

34 ●デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む .. 86
35 ●取り込んだ写真を閲覧する 88
36 ●取り込んだ写真を印刷する 90

SECTION 34

デジタルカメラの写真をパソコンに取り込む

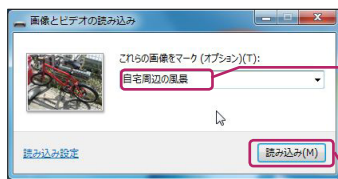
Windows7 を使って、デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込んでみましょう。

- ☑ デジタルカメラから直接写真を取り込む
- ☑ ファイルのコピーで写真を取り込む
- ☑ 取り込み後、デジタルカメラから写真を削除する

デジタルカメラから写真を取り込む

step 1 デジタルカメラをパソコンに接続する

【画像の取り込み】をクリック

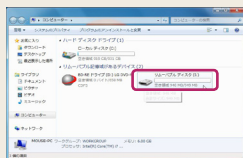
step 2 画像の読み込みウィザードが開始される

ワンポイント

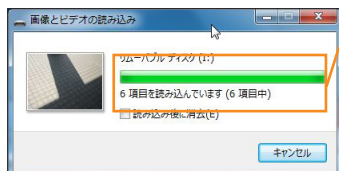
写真を取り込む

デジタルカメラの写真をパソコンに取り込むには、デジタルカメラを USB ケーブルなどで直接パソコンに接続する、メモリカードをデジタルカメラから取り出して、アダプタにメモリを装着し、それをパソコンに接続するなどの方法があります。いずれの場合も、[画像の読み込みウィザード] が自動的に起動し、画像の取り込みを行うことができます。

テクニック

画像ファイルを直接パソコンにコピーする。

デジタルカメラをパソコンに接続し、「コンピュータ」を開くと、[リムーバブル記憶域があるデバイス」の領域に、アイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックし、コピーしたい写真ファイルを任意のファイルにコピーすることにより、パソコンに写真を取り込むことも出来ます。

▲ [リムーバブルディスク] として認識する

step 3 画像の読み込みが開始される

画像の読み込みが開始されます

step 4 Windows フォトギャラリーが表示される

画像の読み込みが完了し、「Windows フォトギャラリー」が開く

読み込んだ画像が一覧表示される

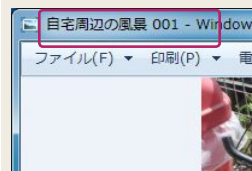
開きたい画像をダブルクリックする

step 5 画像が表示される

画像が表示されます

ワンポイント

画像に割り当てられる名前

パソコンに取り込まれた画像には、自動的に「グループ名 001. jpg」「グループ名 002. jpg」と言う名前がつけられます。

▲自動的に名前がつけられる

テクニック

取り込み後、デジタルカメラから写真を削除する

写真を取り込む際に、「読み込み後に消去」の欄にチェックをつけておくと、写真を読み込み完了後、デジタルカメラから写真を自動的に消去することが出来ます。

▲ここにチェックを入れます

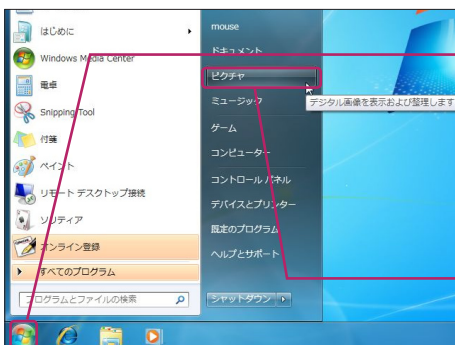
SECTION

35 取り込んだ写真を閲覧する

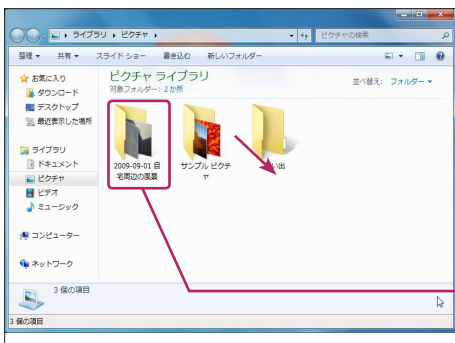
デジタルカメラからた取り込んだ写真を見てみましょう。スライドショーで表示させることも可能です

- ☑ 写真を表示する
- ☑ スライドショーで写真を閲覧する
- ☑ 取り込んだ写真を編集する

取り込んだ写真を閲覧する

step 1 Windows フォトギャラリーを開く

1 [スタート] ボタンをクリック

2 [ピクチャ] をクリック

step 2 [ピクチャ] フォルダが開く

[ピクチャ] フォルダが開く

取り込んだ画像の入っているフォルダをダブルクリックする

ワンポイント

撮影した写真の詳細を確認する

取り込んだ写真にマウスカーソルを合わせると、画像のプレビュー、撮影日、画像サイズの大きさ、グループ名などを確認することが出来ます。

テクニック

写真をデスクトップの背景に設定する

背景に選択したい写真を右クリックし、[デスクトップの背景として設定] をクリックすると、その画像をデスクトップの背景に設定することが出来ます。

▲ [デスクトップの背景として設定] をクリック

▲写真がデスクトップの背景に設定される

step 3 開きたい画像をダブルクリックする

開きたい画像をダブルクリックする

画像が表示されます

スライドショーを表示する方法

step 1 スライドショーボタンを押す

スライドショー表示させたいフォルダを開いておきます

［スライドショー］ボタンを押します

step 2 写真がスライドショー表示される

スライドショーが表示されます

SECTION 36

取り込んだ写真を印刷する

取り込んだ写真を、Windows7 の印刷機能を使って印刷してみましょう。

☑ 写真を印刷する

写真をプリンタで印刷する

step 1 写真の入っているフォルダを開く

プリントしたい写真が入っているフォルダを開きます

step 2 印刷したい写真を選択して [印刷] をクリック

1 印刷したい写真を選択する

2 [印刷] をクリックする

ワンポイント

プリンタから画像を印刷する

　パソコンにカラープリンタが接続されていれば、そのプリンタを使って画像を印刷することが出来ます。印刷するプリンタは、[画像の印刷] の設定画面で指定することが可能です。

step 3 ［画像の印刷］画面が表示される。

［画像の印刷］画面が表示されるので、各写真の印刷設定を行います。

各種設定を行った後、［印刷］ボタンを押す

❶プリンタ
印刷を行うプリンタを指定します

❷用紙サイズ
印刷する用紙サイズを指定します

❸品質
印刷の品質を指定します

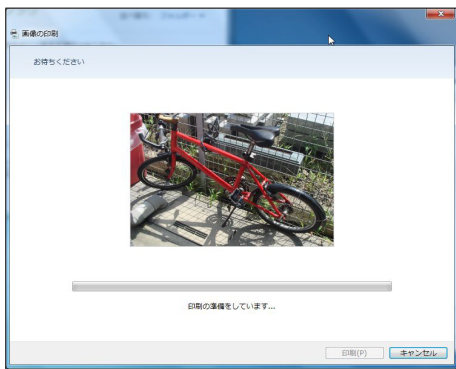
❹レイアウト
用紙の中に、どのように画像をレイアウトして印刷するかを設定します

❺各画像の部数
各画像を印刷する部数を設定します

❻写真をフレームに合わせる
印刷する写真の余白がなくなるように、画像を拡大します。この設定を行うと、画像の端が切れることがあります。

step 4 印刷が開始されます

画像の印刷が開始されます

CHAPTER 7

音楽とビデオの再生

本章では、Windows Media Player および Windows Media Center を使って、音楽、ビデオおよび写真を活用する方法を説明します

37 ● Windows Media Player を起動する 94
38 ●音楽ファイルを再生する 96
39 ●音楽 CD を再生する 98
40 ●音楽 CD をパソコンに取り込む 100
41 ●音楽を CD-R にコピーする 102
42 ● DVD にビデオファイルを書き込む 104
43 ● Windows Media Center の起動 106
44 ● Windows Media Center で音楽を再生する . . . 108
45 ● Windows Media Center で動画を再生する . . . 110
46 ● Windows Media Center で写真を閲覧する . . . 112

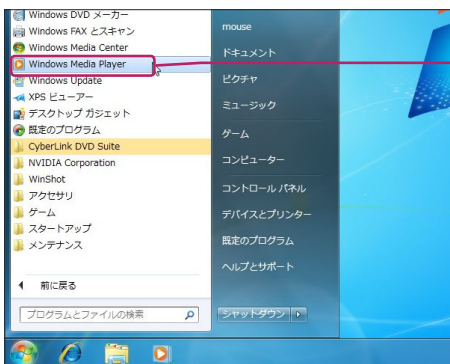
SECTION 37

Windows Media Player を起動する

動画、音楽の再生などには、Windows Media Player を使用します。ここでは、Windows Media Player の起動・終了について説明します。

- Windows Media Player の起動
- 初回起動時の設定
- メニューバーの表示

Windows Media Player の起動

step 1 Windows Media Player の起動

［すべてのプログラム］⇒［Windows Media Player］をクリック

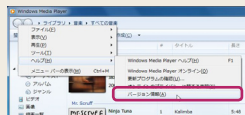
step 2 初回起動時の設定を行う

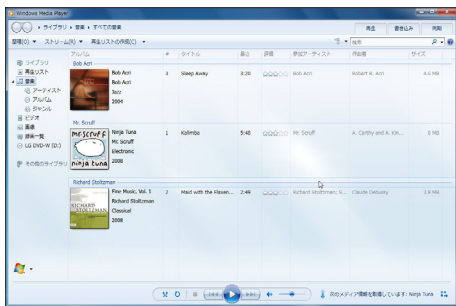
1 ［推奨設定］を選択

2 ［完了］をクリック

テクニック

Windows Media Player のバージョンを確認する方法

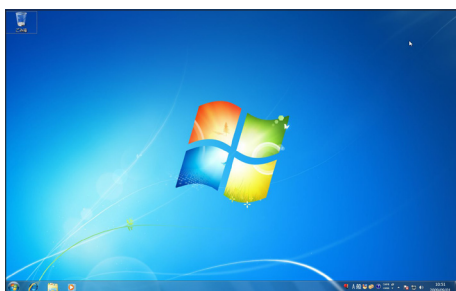
［ヘルプ］メニュー⇒「バージョン情報」をクリックすると、現在の Windows Media Player のバージョンを確認することが出来ます。

▲［ヘルプ］メニュー⇒［バージョン情報］をクリック

step 3 Windows Media Player が起動する

Windows Media Player が起動する。

Windows Media Player を閉じる

step 1 [閉じる] ボタンをクリックする

[閉じる] ボタンをクリックする

step 2 Windows Media Player が終了する

Windows Media Player が終了する。

テクニック

メニューバーを表示する方法

Windows Media Player 初回起動時には、画面上部にあるメニューバーが表示されていません。メニューバーを表示するには、キーボードの [Ctrl]+[M] キーを押すことにより、表示できます。

▲メニューバーが表示される

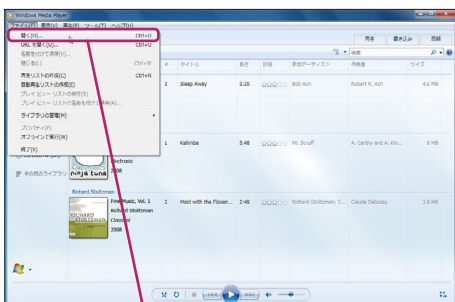
SECTION 38

音楽ファイルを再生する

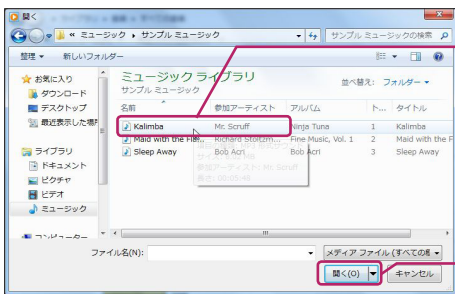
Windows Media Playerを使って、音楽ファイルを再生してみましょう。同様の手順で、動画ファイルの再生を行うこともできます。

☑ 音楽ファイルの再生
☑ 視覚エフェクトの設定
☑ 音量の調節

音楽ファイルの再生

step 1 Windows Media Playerを起動

Windows Media Playerを起動する

[ファイル]メニュー⇒[開く]をクリック

step 2 [開く]ダイアログボックスが開く

1 開きたい音楽ファイルを選択

2 [開く]ボタンをクリック

ワンポイント

再生可能なファイルの種類

Windows Media Playerで再生できる主なファイルの種類は、以下のとおりです。

CDオーディオ
cda
MIDIファイル
mid、midi、rmi
Windows Media ファイル
asf、wm、wma、wmy
オーディオファイル
wav、au、snd、aif、aifc、aiff、wma、wax
ビデオファイル
avi、wmv
ムービーファイル
mpeg、mpg、mpe、mlv、mp2、mpv2
メディア再生リスト
asx、wax、m3u、wvx
MP3形式サウンド
mp3、m3u

ワンポイント

メディアファイルの再生

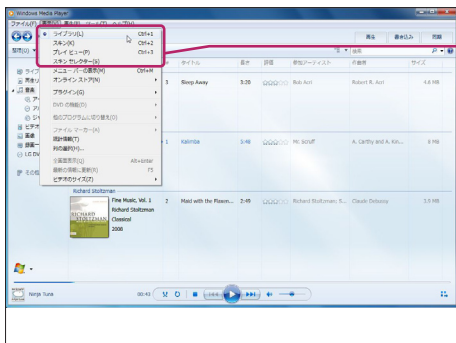
Windows Media Playerに関連付けられているファイルは、ファイルをダブルクリックすることでWindows Media Playerが自動的に起動し、再生することが出来ます。

step 3 音楽ファイルが再生する

音楽ファイルの再生が開始されます

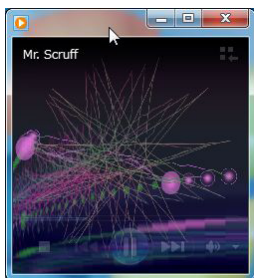
❶再生バー
❷[ランダム再生]
❸[連続再生]
❹[停止]
❺[巻き戻し]
❻[再生 / 一時停止]
❼[早送り]
❽[ミュート]
❾[音量調整]

表示方法を変更する

step 1 [表示] メニューをクリックする

1 [表示] メニューから、[スキン] もしくは [プレイビュー] を選択する

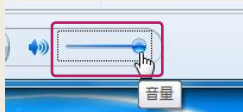
step 2 表示方法が変更される

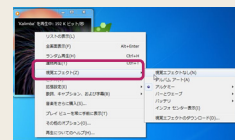
▲スキン

▲プレイビュー

ワンポイント

プレイビュー
プレイビュー画面右側には、再生されているファイルの詳細が表示されます。

テクニック

音量を調節する
[音量調節用] スライダをドラッグすることで、音量を調節できます。

ワンポイント

視覚エフェクト
プレイビュー画面には、再生されているファイルの詳細と、視覚エフェクトが表示されます。視覚エフェクトはお好みに合わせて変更することが出来ます。

▲プレイビュー上で右クリックし、[視覚エフェクト] より選択する

SECTION 39

音楽 CD を再生する

WindowsVista では、音楽 CD を挿入するだけで音楽の再生を行うことができます。また、手動にて音楽 CD を再生することも可能です。

- ☑ 音楽 CD を自動的に再生
- ☑ 音楽 CD を手動で再生
- ☑ 曲をスキップする

音楽 CD を自動的に再生

step 1 音楽 CD を、光学ドライブに挿入する。

Windows メディアプレーヤーが起動して、音楽 CD が再生されます。

ワンポイント

音楽 CD は、光学ドライブにに挿入すれば自動的に再生する。

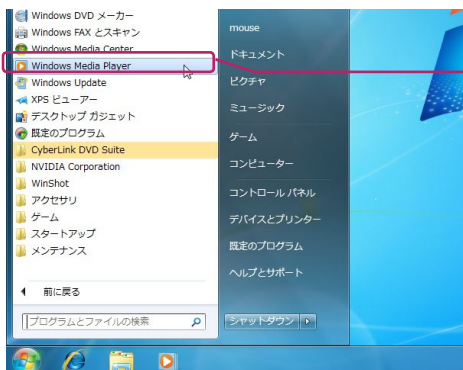
Windows7 は音楽 CD のオートプレーに対応しているので、光学ドライブに CD を挿入するだけで音楽 CD が再生されます。

ワンポイント

音楽 CD が自動的に再生しない場合は

音楽 CD を光学ドライブに挿入しても、自動的に再生されない場合は、Windows Media Player を起動し、[再生] メニューから [DVD、VCD または CD オーディオ] をクリックすれば、音楽 CD の再生が始まります。

音楽 CD を手動で再生

step 1 Windows Media Player を起動する

［すべてのプログラム］から、[Windows Media Player] をクリック

step 2 [DVD、VCD、またはオーディオ］をクリック

[Windows Media Player] を起動する

音楽 CD が光学ドライブに入っている状態とします

［再生］メニューから[DVD、VCD、またはオーディオ］をクリック

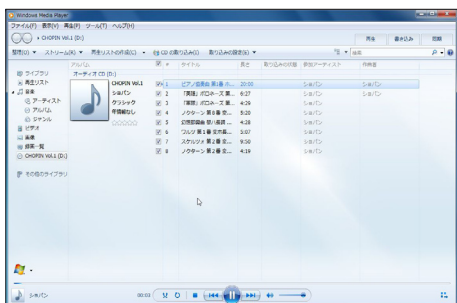
step 3 音楽 CD の再生が開始される

音楽の再生が自動的に始まります

テクニック

曲をスキップする

音楽 CD の再生中に、次の曲にスキップしたい場合は、［次へ］ボタンを押します。

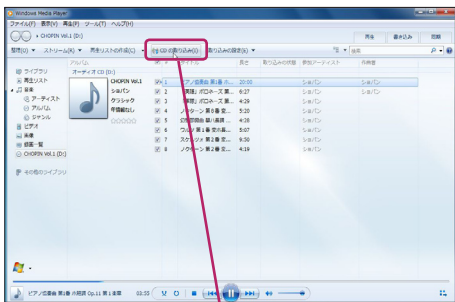
▲［次へ］ボタンをクリックすると、次の曲にスキップする

SECTION 40

音楽 CD をパソコンに取り込む

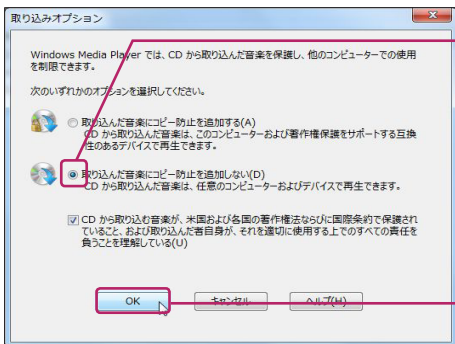
音楽 CD の音楽データをパソコンに取り込むことにより、その後は音楽 CD がなくても、パソコン上で音楽の再生を行うことができます。

- 音楽 CD をパソコンに取り込む
- 音楽 CD を取り込む際の設定

音楽 CD をパソコン上にコピーする

step 1 Windows Media Player を起動

1 音楽 CD を光学ドライブに挿入しておく

2 [CD の取り込み] をクリックする

step 2 コピー防止に関する設定を選択する

1 [取り込んだ音楽にコピー防止を追加しない] をクリックして選択

2 [OK] をクリック

ワンポイント

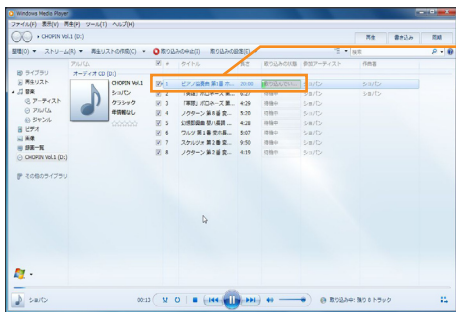
音楽データのコピー

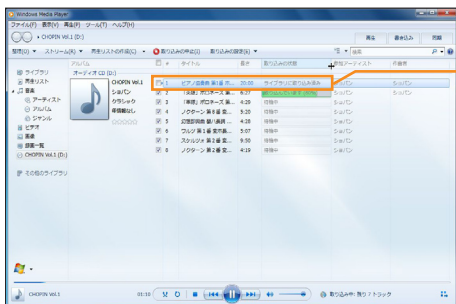
[取り込み] を行うと音楽 CD のデータは WMA 形式でパソコン上に保存されます。保存された WMA ファイルは、CD-R/RW に書き込み事も可能です。

ワンポイント

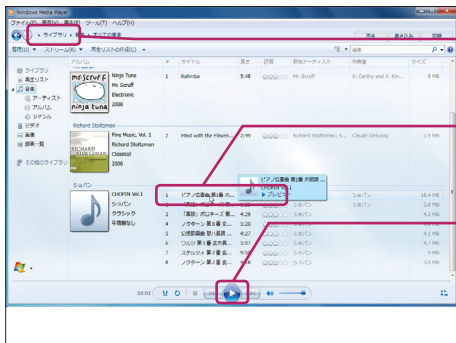
WMA ファイルとは

Windows Media Player で作成される WMA ファイルは、音楽データの圧縮ファイルです。高音質を保ったまま、ファイルサイズを圧縮できるようになっています。

step 3 音楽の取り込みが開始される

音楽の取り込みが開始されます

step 4 音楽 CD のコピーが完了する

コピーが完了した曲は、「ライブラリに取り込み済み」と表示されます

取り込んだ音楽を再生する

step 1 取り込んだ音楽を再生する

1 [ライブラリ]をクリック

2 再生したい曲を選択

3 [再生]ボタンを押す

音楽が再生されます

テクニック

音楽を取り込む際の設定

[ツール]メニュー⇒[オプション]をクリック⇒[音楽の取り込み]タブより、音楽を取り込む際の設定を行うことができます。

❶[変更]
取り込んだ音楽を保存する場所を変更します

❷[形式]
音楽を取り込むファイル形式を選択します

❸[取り込んだ音楽を保護する]
取り込んだ音楽に、コピー防止機能を付与します。

❹[CD の取り込みを自動的に開始する]
CD が挿入された時点で、音楽の取り込みを開始するかどうかを設定します。

❺[取り込み後に CD を取り出す]
取り込みが完了した時点で、CD を自動的に排出するかどうかを設定します。

❻[品質]
取り込む音楽の品質を、スライダーで設定します。

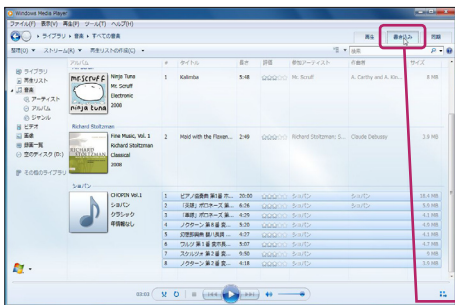
SECTION

41 音楽を CD-R にコピーする

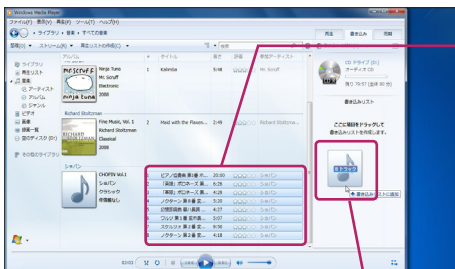
Windows Media Player を使って、取り込んだ音楽を CD-R に書き込むことが出来ます。

☑ 取り込んだ音楽を CD-R にコピーする
☑ 書き込み後にディスクを取り出す
☑ 書き込み後にディスクを取り出す

音楽をパソコンから CD-R にコピーする

step 1 Windows Media Player を起動

空の CD-R を、光学ドライブに挿入しておきます

[書き込み] をクリック

step 2 書き込みたいファイルを選択する

1 CD-R に書き込みたいファイルを選択し

2 [書き込みリスト] の領域までファイルをドラッグする

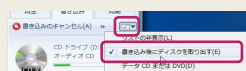
注意

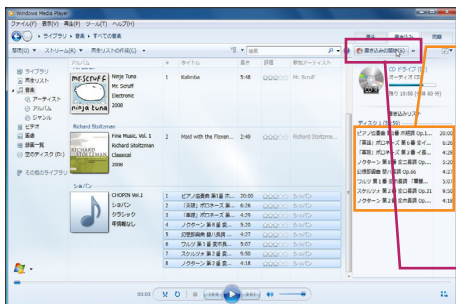
CD-R を事前にセットしておく

CD の書き込み機能を使う場合は、事前に空の CD-R/RW を挿入しておいてください。

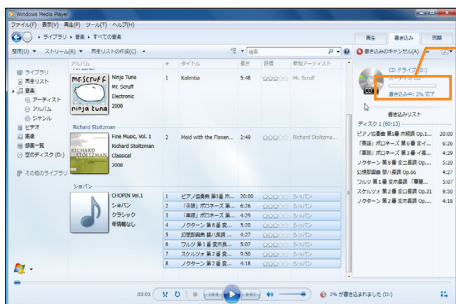
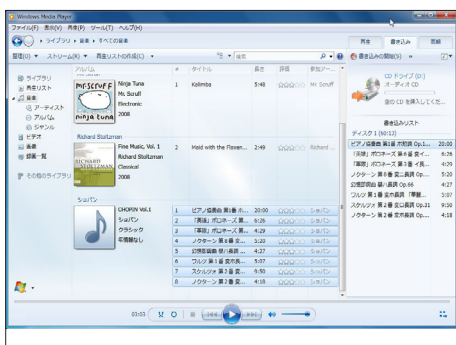
テクニック

書き込み後にディスクを取り出す

CD 書き込み完了後に、自動的にディスクを取り出したい場合は、[書き込み] タブの右上にある▼をクリックし、[書き込み後にディスクを取り出す] にチェックを入れます。

▲ [書き込み後にディスクを取り出す] にチェックを入れる

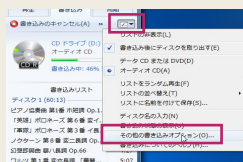
step 3 書き込みを開始する

［書き込みリスト］欄に、ドラッグしたファイルが追加されます。

［書き込みの開始］をクリック

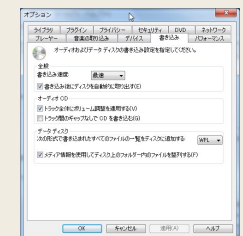
書き込みが開始されます

step 4 CD の書き込みが完了する。

書き込みが完了しました

テクニック

書き込みの詳細設定

書き込みを行う際の詳細設定を行うには、［書き込み］タブの下にある▼をクリックし、［その他のオプション］をクリックします。ここでは、書き込みの速度、ボリューム調整、録音の音質の設定等が行えます。

▲［その他オプション］をクリック

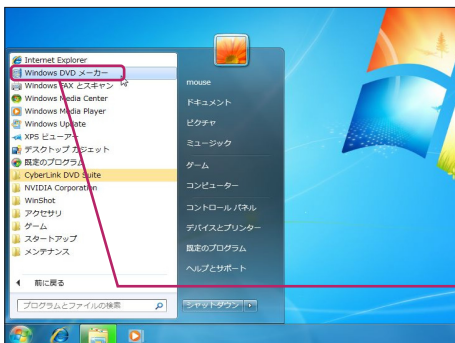
▲設定を行い、［OK］をクリック

SECTION 42

DVD にビデオファイルを書き込む

Windows DVD メーカーを使用すれば、パソコン上にある動画ファイルを市販の DVD プレーヤーで再生できる形式で書き込むことが出来ます。

- ☑ WindowsDVD メーカーで動画を書き込む
- ☑ DVD 書き込みの設定

Windows DVD メーカーでビデオ DVD を作成する

step 1 Windows DVD メーカーを起動する

空の DVD-R メディアを光学ドライブに挿入します

[すべてのプログラム] から、[Windows DVD メーカー] をクリックする

step 2 Windows DVD メーカーが起動した

WindowsDVD メーカーが起動した

[項目の追加] をクリック

step 3 DVD に書き込む動画ファイルを選択

1 DVD に書き込みたいファイルを選択する

2 [追加] をクリック

ワンポイント

DVD ビデオファイル

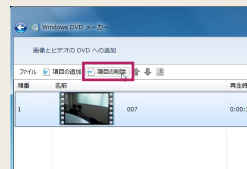
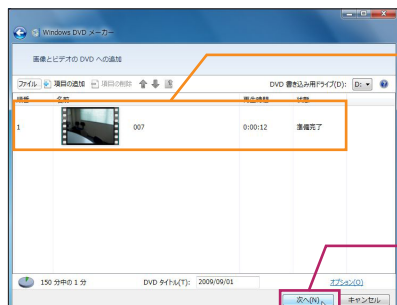
DVD に Mpeg 等の動画ファイルを直接書き込んだだけでは、市販の DVD プレーヤーなどで動画を再生することは出来ません。WindowsDVD メーカーを使用して、動画ファイルを一般の DVD プレーヤーでも再生できる形式に変更して書き込む必要があります。

テクニック

一度追加したファイルを削除するには。

削除したい項目を選択し、[項目を削除] ボタンをクリックすることで、一度追加したファイルを削除することが出来ます。なお、一度 DVD に書き込みが完了してしまった項目は、削除することが出来ないので注意しましょう。

▲ [項目の削除] をクリックする

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

step 4 項目が追加されました

選択したファイルが、項目に追加された

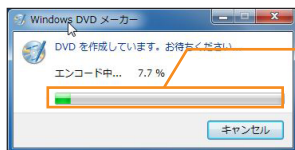
[次へ] をクリック

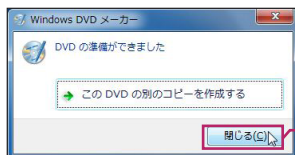
step 5 Windows DVD メーカー

動画のプレビューが表示される

1 メニューのスタイルを選択する

2 [書き込み] をクリック

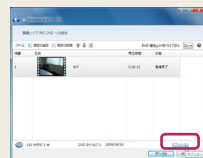
step 6 DVD に書き込みが開始される

DVD に書き込みが開始されます

step 7 ディスクに書き込まれました

DVD に書き込みが完了しました

[閉じる] をクリック

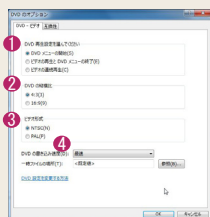
テクニック

DVD 書き込み時の設定

動画を DVD に書き込む際の設定は、[オプション] ボタンをクリックすることにより行うことができます。

▲[オプション] をクリックする

▲設定を行う

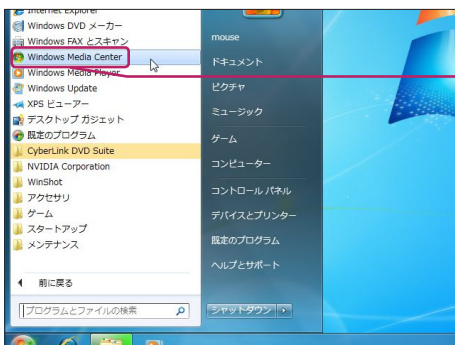
❶ DVD の再生設定
❷縦横比
❸ビデオ形式
❹ DVD の書き込み速度

SECTION

43 Windows Media Center の起動

Windows Media Center は、動画、音楽、写真の再生や、TV の録画など、マルチメディアを容易に扱うことが出来るプログラムです。

- Windows Media Center の起動
- Windows Media Center の終了

Windows Media Center を起動する

step 1 Windows Media Center を起動

［すべてのプログラム］から、［Windows Media Center］をクリック

step 2 セットアップ画面が表示される

初回起動時には、セットアップ画面が表示されます

1 ［続行］をクリック

ワンポイント

Windows Media Center とは

マウスやキーボードだけでなく、リモコン入力にも標準で対応しており、DVD などのデジタルメディアをリモコンで操作できるようになっているソフトウェアです。

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

step 3 推奨設定をクリック

1 [推奨設定]をクリック

自動的に設定が行われます

Windows Media Center の画面構成

❶ Windows7 へ戻る
WindowsVista のデスクトップ画面に戻ります
❷メニューバー
各種操作のメニュー項目です

ワンポイント

リモコンの使用

Windows Media Center をリモコンで操作するには、専用のリモコンキットが別途必要です。

ワンポイント

TV の視聴には、TV チューナーボードが必要

Windows Media Center で TV 視聴するには、別途 TV チューナーボードが必要です。TV チューナーボードが内蔵されていないパソコンでは、Windows Media Center を使用して、TV 視聴することが出来ません。

SECTION 44

Windows Media Center で音楽を再生する

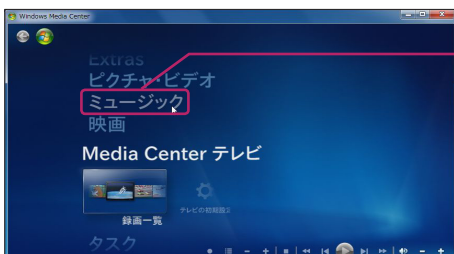
Windows Media Center を使って、音楽を再生してみましょう

- ☑ Windows Media Center で音楽を再生する
- ☑ 音楽ファイルの検索
- ☑ 再生待ちリスト

Windows Media Center で音楽を再生する

step 1 Windows Media Center を起動

［ミュージック］をクリック

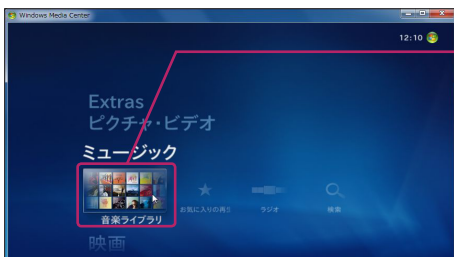
step 2 ［音楽ライブラリ］をクリック

［音楽ライブラリ］をクリックする

テクニック

すべて再生

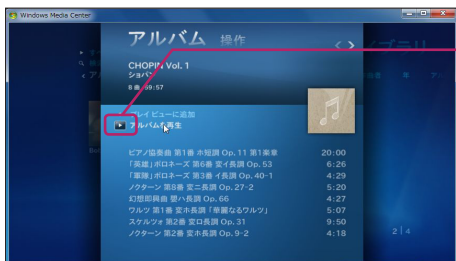
［ミュージック］メニュー内にある、［すべて再生］をクリックすることで、音楽ライブラリの中にある音楽ファイルをすべて再生することが出来ます。

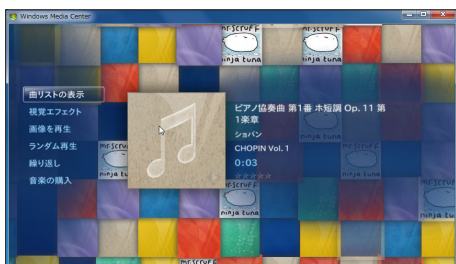
▲［すべて再生］をクリック

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

step 3 音楽ライブラリが開く

音楽ライブラリが開き、アルバムの一覧が表示される

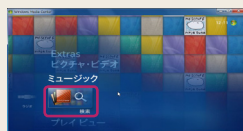
再生したいアルバムをクリック

step 4 アルバムを再生する

［アルバムを再生］をクリック

step 5 アルバムの再生が開始される

アルバムの再生が開始されます。

テクニック

音楽の検索

［検索］をクリックすることで、音楽ファイルを検索することが出来ます。

▲［検索］をクリック

▲検索する文字列を入力し、検索する

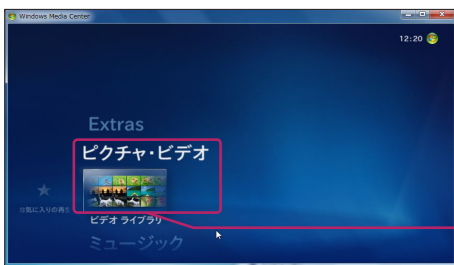
SECTION 45

Windows Media Center で動画を再生する

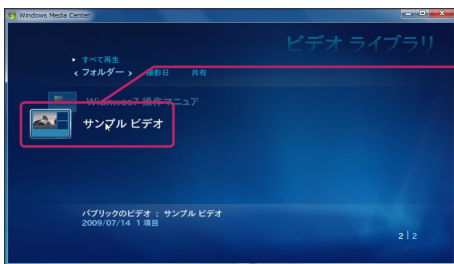
Windows Media Center を使って、動画を再生してみましょう

☑ Windows Media Center で動画を再生する。
☑ DVD の再生
☑ ビデオの背景色の設定

Windows Media Center で動画を再生する

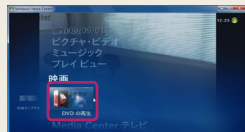
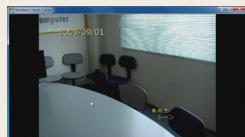
step 1 ［ピクチャ・ビデオ］メニューを開く

Windows Media Center を起動します

［ピクチャ・ビデオ］メニュー内の［ビデオライブラリ］をクリック

step 2 開きたいフォルダを選択する

開きたい動画ファイルがあるフォルダをクリックする

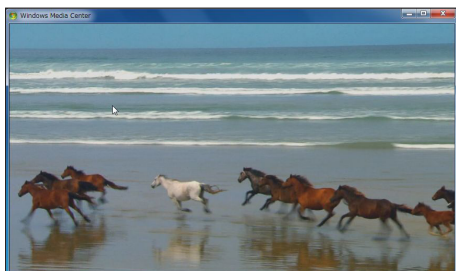
テクニック

DVD の再生

Windows Media Center では、動画ファイルの直接再生だけでなく、DVD の再生も行うことが出来ます。DVD をあらかじめパソコンに挿入しておき、［テレビ・映画］メニュー⇒［DVD の再生］をクリックすることで、DVD の再生を行うことが出来ます。

▲［DVD の再生］をクリック

▲ DVD が再生される

step 3 再生したい動画をクリックする

再生したい動画をクリックする

step 4 選択した動画が再生される

選択した動画が再生されました

step 5 動画の再生が完了する。

動画が最後まで再生されると、メニューが表示されます

[削除] をクリックすると、その動画が削除されます

[再生] をクリックすると、同じ動画をもう一度再生します

テクニック

ビデオの背景色の設定

ハイエンドのプラズマ ディスプレイでビデオを再生中に画面の焼き付きを防止するために、背景色を変更することができます。焼き付きまたは残像は、変化しない画像がを画面に長時間表示したままにすると発生します。新しい画像を表示した後も、前の画像の残像がうっすらと見える場合があります。

設定を行うには [start] ⇒ [タスク] ⇒ [設定] ⇒ [全般] ⇒ [視聴覚効果] ⇒ [ビデオの背景色] の順にクリックします

ビデオの背景色については、[−] または [+] をクリックして背景色を変更します。既定の色は黒ですが、色の範囲は 90% のグレーから 10% のグレーおよび白です。

▲ビデオの背景色の設定

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

SECTION 46

Windows Media Center で写真を閲覧する

Windows Media Center を使って、写真を閲覧することも出来ます。

- ☑ Windows Media Center を使って写真を閲覧する
- ☑ スライドショー
- ☑ 画像ライブラリの一覧表示方法

Windows Media Center で写真を閲覧する

step 1 画像ライブラリを開く

Windows Media Center を起動します

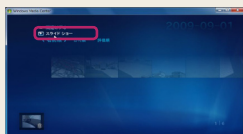
［ピクチャ・ビデオ］メニュー内の［画像ライブラリ］をクリックする

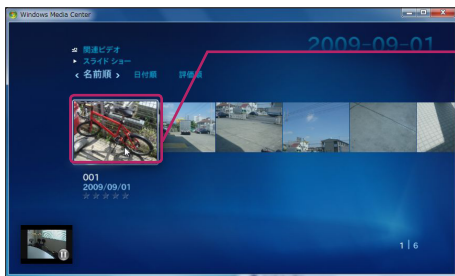
step 2 開きたい画像の一覧を選択する

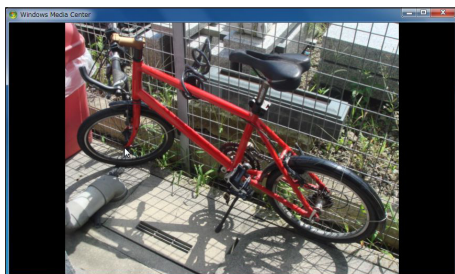
表示したい画像フォルダをクリックする

テクニック

スライドショー表示

スライドショー表示させたい画像のフォルダを開いておき、［スライドショー］をクリックすると、そのフォルダ内の画像がスライドショー表示されます。

▲［スライドショー］をクリックする

step 3 表示したい写真をクリックします

表示したい写真をクリックします

step 4 選択した写真が表示されます

選択した写真が表示されます

テクニック

画像ライブラリの一覧表示方法

画像ライブラリに表示される画像一覧は、[フォルダ][タグ][撮影日]の基準で表示させることが出来ます。表示方法の切り替えは、画面上部のメニューで行います。

▲[フォルダ]で一覧表示

▲[タグ]で一覧表示

▲[撮影日]で一覧表示

CHAPTER 8

Windows の各種設定

本章では、Windows の各種設定について説明します。

47 ●画面の解像度を設定する 116
48 ●デスクトップの背景を設定する 118
49 ●スクリーンセーバーを設定する 120
50 ●日付と時刻を設定する 122
51 ●デスクトップにショートカットを作成する . . 124
52 ●ユーザーアカウントを追加する 126
53 ●ユーザーアカウントの設定を変更する 130
54 ●ファイルやフォルダの共有 132

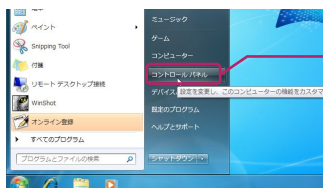
SECTION 47

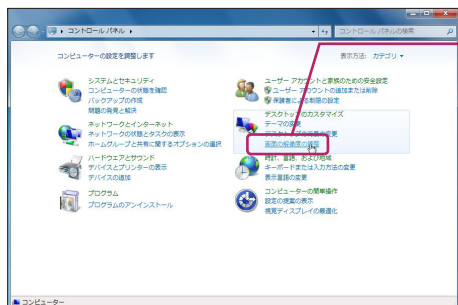
画面の解像度を設定する

画面の解像度を上げることにより、より多くの項目を画面に表示することが出来ます。

☑ 画面の解像度を変更する

画面の解像度と色数を変更する

step 1 コントロールパネルを開く

［スタート］メニューより［コントロールパネル］を開く

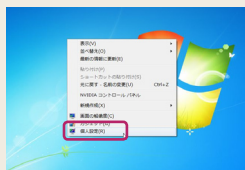
step 2 ［コントロールパネル］が開く

［画面の解像度の調整］をクリック

step 3 解像度を設定する

［解像度］スライダーで解像度を設定する

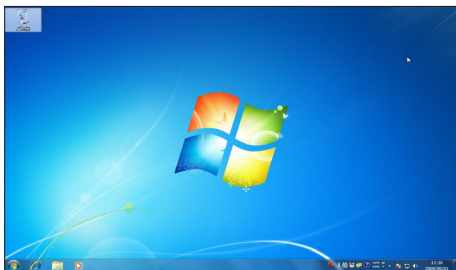
テクニック

画面の設定を変更する別の方法

デスクトップの何もないところで右クリックを押すと、メニューが表示され、「個人設定」⇒［画面の設定］をクリックすることでもをクリックすることで画面の設定変更を行うことができます。

▲［個人設定］をクリック

step 4 画面の色数を設定する

step 5 確認画面が表示されるので、変更を確定する

step 6 画面の解像度と色数が変更された

ワンポイント

画面の解像度

解像度には、VGA(640 x 480)、SVGA(800x600)、XGA(1024x768)、SXGA(1280x1024) 等が有ります。最大解像度は、パソコンおよびディスプレイの性能によって決まりますので、性能により選択できない解像度もあります。

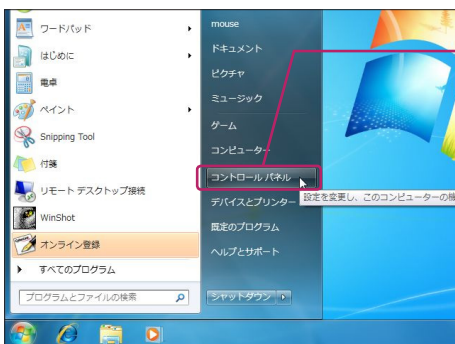
SECTION

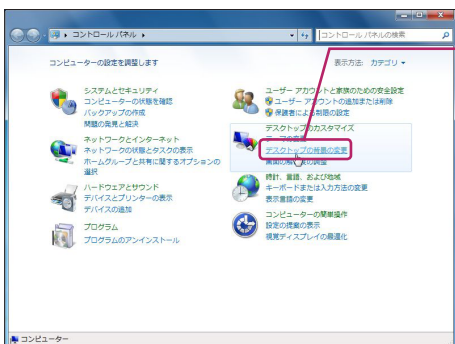
48 デスクトップの背景を設定する

Windows7 のデスクトップ背景は、自分の好みに設定することが出来ます。自分で取った写真を背景に設定することも出来ます

- ☑ デスクトップの背景を変更する
- ☑ 好みの画像を背景に設定する
- ☑ 背景の表示位置

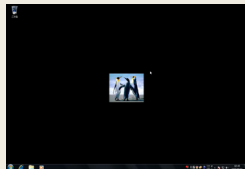
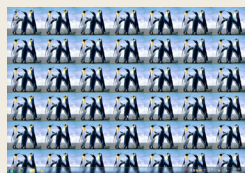
デスクトップの背景を設定する

step 1 コントロールパネルを開く

［スタート］メニューより［コントロールパネル］を開く

step 2 ［デスクトップの背景を変更］をクリック

［デスクトップの背景の変更］をクリック

ワンポイント

背景の表示位置

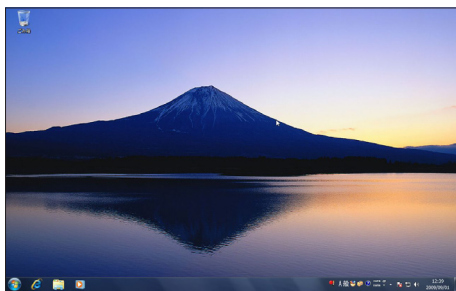
背景の画像の表示位置は、画面中央に画像を一枚表示する［中央に表示］、画面全体に同じ画像を羅列する［並べて表示］、一枚の画像を拡大して画面全体に表示させる［拡大して表示］から選択することが出来ます。

▲［中央に表示］

▲［並べて表示］

▲［拡大して表示］

step 3 背景に設定する画像を選択する

1 背景に設定したい画像をクリック

2 [変更の保存] をクリック

step 4 背景の画像が変更された

デスクトップの背景が変更されました。

テクニック

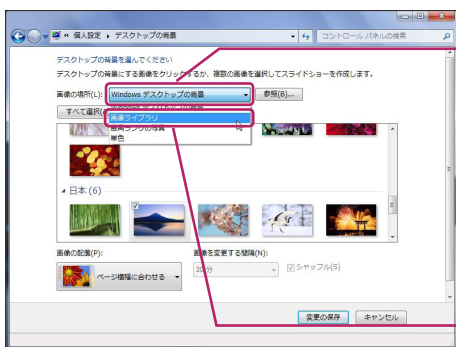
好きな画像を背景に設定する

[参照] ボタンをクリックし、好きな画像を選択することで、その画像をデスクトップの背景として設定できます

▲ [参照] をクリックし、好きな画像があるフォルダを選択

▲背景とする画像を選択

選択する画像のフォルダを変更する

step 1 画像フォルダの変更

1 [画像の場所] をクリック

2 フォルダを選択する

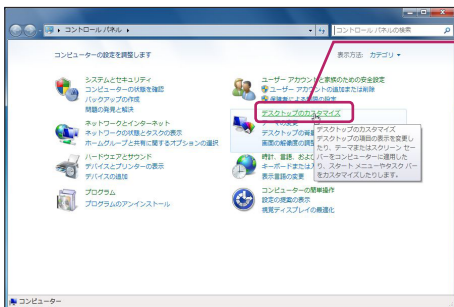
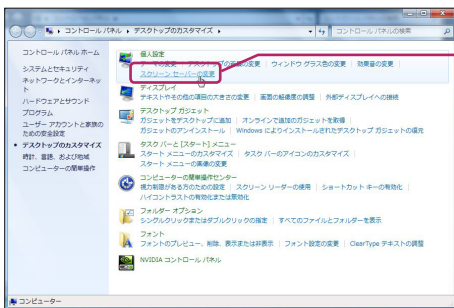
SECTION

49 スクリーンセーバーを設定する

スクリーンセーバーとは、コンピュータを使用していない間、画面を黒くしたり、簡単なアニメーションを表示するソフトウェアです。

- ☑ スクリーンセーバーを変更する
- ☑ スクリーンセーバーにパスワードを設定する
- ☑ 電源プランの選択

スクリーンセーバーを変更する

step 1 コントロールパネルを開く

1 ［デスクトップのカスタマイズ］をクリック

2 ［スクリーンセーバーの変更］をクリック

ワンポイント

スクリーンセーバーは見て楽しむものでもある

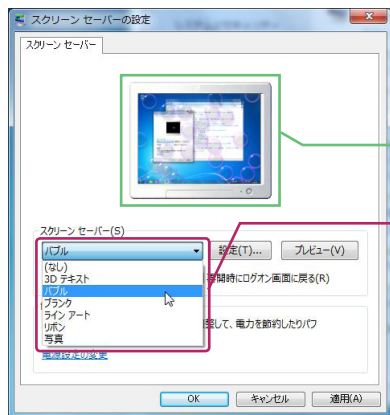
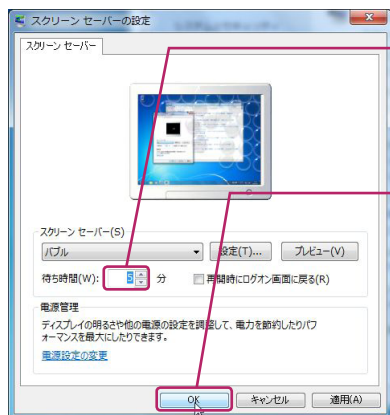
スクリーンセーバーには、画面の焼付けを防止すると言う本来の目的のほか、見て楽しむものでも有ります。WindowsVista標準のスクリーンセーバーのほか、インターネットなどでもスクリーンセーバーをダウンロードすることが出来ます。

テクニック

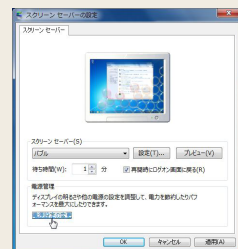
再開時にログオン画面に戻る

［再開時にログオン画面に戻る］にチェックを入れることで、スクリーンセーバーから復帰した際に、ログオン画面に戻ることが出来ます。

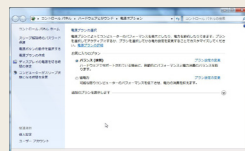
▲［再開時にログオン画面に戻る］にチェックを入れる

step 3 ［スクリーンセーバーの設定］画面が開く

ワンポイント

電源プランの選択

スクリーンセーバーを起動する代わりに、モニタの電源を切る設定をすることも出来ます。［電源設定の変更］⇒［電源プランの選択］より、お好みの電源プランを選択しましょう。

▲［電源設定の変更］をクリック

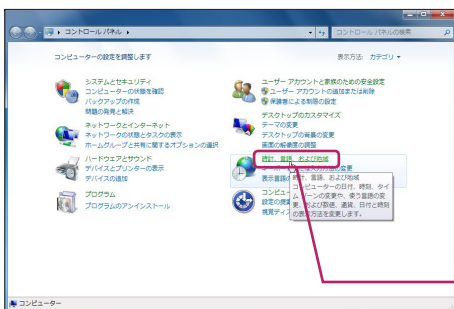
▲電源プランを選択する

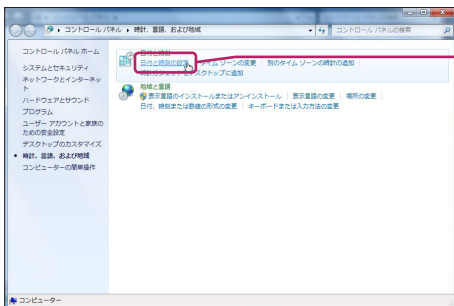
SECTION 50

日付と時刻を設定する

パソコンの内蔵時計はアプリケーションの動作を制御する上でも重要なものです。正しい日付と時刻を設定しましょう

- ☑ 日付と時刻の設定
- ☑ インターネット経由で日付と時刻を設定する
- ☑ タイムゾーンの設定

日付と時刻の設定

step 1 コントロールパネルを開く

［コントロールパネル］を開く

1［時計・言語および地域］をクリックする

2［日付と時刻の設定］をクリックする

テクニック

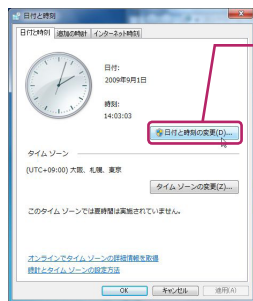
日付と時刻を設定する方法

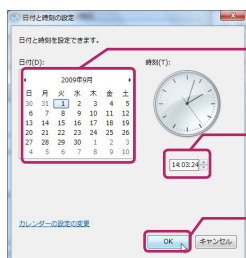
デスクトップ画面右下の通知領域に表示されている時計をダブルクリックしても、「日付と時刻の設定」画面が表示されて、日付と時刻を設定することが出来ます。

注意

内蔵時計は正しい設定が必要

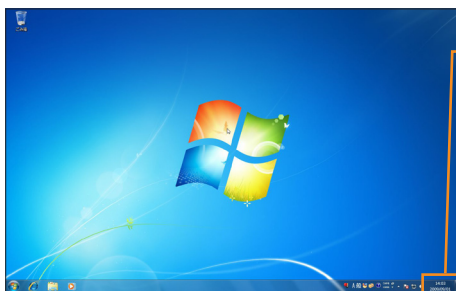
パソコン内蔵時計は、ファイルの作成日時やメールの送信日時などを管理するものなので、正しく設定する必要があります。

step 3 ［日付と時刻］の画面が開く

［日付と時刻の変更］をクリック

step 4 ［日付と時刻の設定］の画面が開く

1 カレンダーから日付を選択

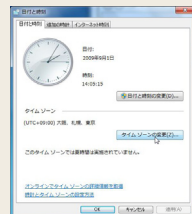
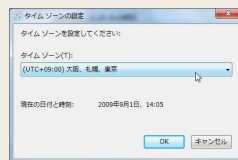
2 時刻を入力

3 ［OK］をクリックする

step 5 日付と時刻が設定された

日付と時刻が設定されました

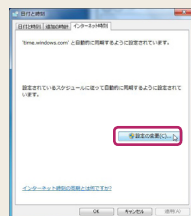
ワンポイント

タイムゾーン

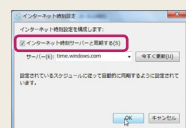
日本でパソコンを使用する場合は、「東京、大阪、札幌」に設定し、海外で使用する場合は、タイムゾーンを現在の年に設定しましょう。

▲［タイムゾーンの変更］をクリック

▲タイムゾーンを変更する

テクニック

インターネットを使って日時を調整する

［インターネット時刻］タブ⇒［インターネット時刻サーバーと同期する］にチェックを入れれば、正しい時刻をインターネット経由で常に調整可能です。

▲［設定の変更］をクリック

▲［インターネット時刻サーバーと同期する］にチェック

SECTION 51

デスクトップにショートカットを作成する

Windows7 の初期状態では、デスクトップにはごみ箱のみ表示されています。デスクトップにアイコンを追加してみましょう。

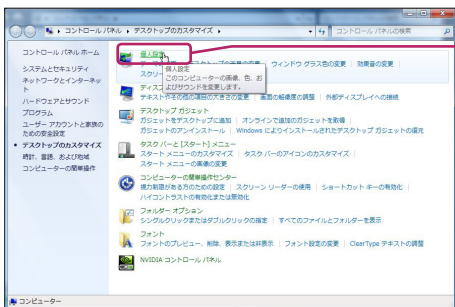
- ☑ デスクトップに各種アイコンを追加する
- ☑ アプリケーションのショートカットを作る
- ☑ ショートカットの名前を変える

デスクトップにアイコンを追加する

step 1 コントロールパネルを開く

［コントロールパネル］を開く

1［デスクトップのカスタマイズ］をクリック

2［個人設定］をクリック

テクニック

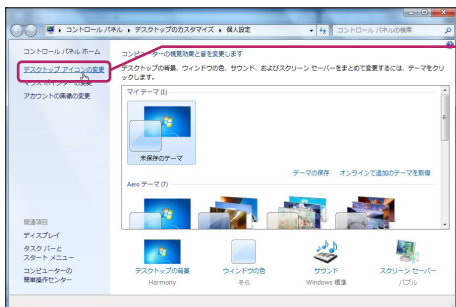
アプリケーションのショートカットを作る

アプリケーションのショートカットを作るには、アプリケーションがインストールされているフォルダを開き、アプリケーション本体のファイルをデスクトップにドラッグします。メニューが表示されるので、その中から［ショートカットをここに作成］を選択すると、ショートカットが作成されます。また、アプリケーション本体のファイルの上で右クリックし、メニューの中から［送る］⇒［デスクトップ（ショートカットの作成）を選択しても、ショートカットを作成することが出来ます。

ワンポイント

ショートカットアイコン

ショートカットアイコンの左下には、上向きの矢印が表示されるので、通常のアイコンとここで区別します。

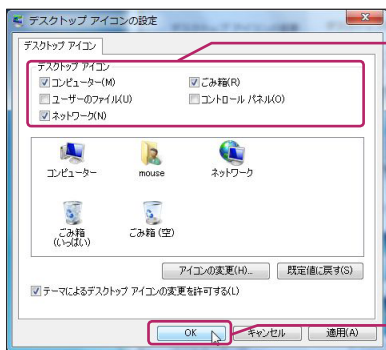
step 2 ［デスクトップアイコンの変更］をクリック

デスクトップアイコンの変更をクリック

step 3 追加するアイコンを選択する

step 4 デスクトップに選択したアイコンが表示された

テクニック

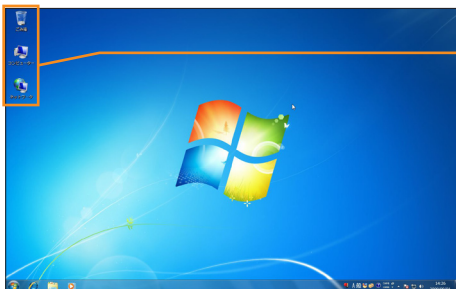
ショートカットの名前を変える

　ショートカットアイコンの上で、右クリックし、［名前の変更］をクリックすることで、ショートカットアイコンの名前を変更することが出来ます。

▲［名前の変更］をクリック

テクニック

ファイルやフォルダーのショートカット

　アプリケーションだけではなく、ファイルやフォルダーも同様の手順でショートカットを作成することが出来ます。ファイルがアプリケーションに関連付けられている場合は、ショートカットをダブルクリックするだけでアプリケーションが起動し、ファイルが開きます。

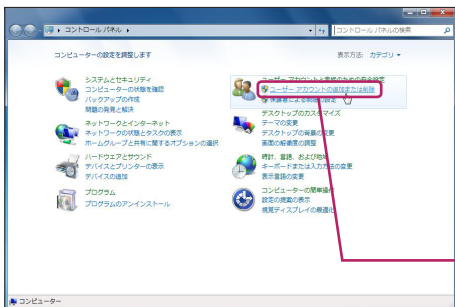
SECTION

52 ユーザーアカウントを追加する

複数人でパソコンを使用する場合は、ユーザーアカウントを追加する必要があります。パスワードの設定もここで行います。

- ユーザーアカウントを追加する
- パスワードを設定する
- ユーザーアカウントの種類

CHAPTER 1 2 3 4 5 6 7 8 9

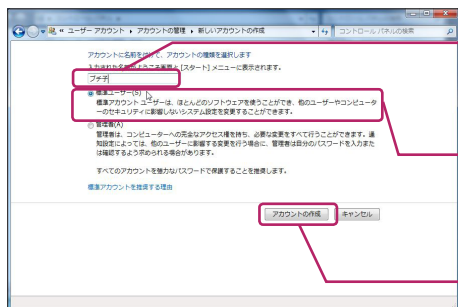
ユーザーアカウントの追加

step 1 コントロールパネルを開く

コントロールパネルを開きます

［ユーザーアカウントの追加または削除］をクリック

step 2 ［アカウントの管理］画面が開く

［新しいアカウントの作成］をクリック

step 3 ［新しいアカウントの作成］画面が開く

ワンポイント

ユーザーアカウントの種類について

ユーザーアカウントには、［標準ユーザー］と［管理者］があります。［標準ユーザー］は、WindowsVistaのほとんどの機能を実行できますが、一部他のユーザーにも影響を与えるような操作・変更については、［管理者］にしか行えないものがあります。

step 4 新しいアカウントが作成された

新しいアカウントが作成されました

ワンポイント

［管理者］を2名以上設定することも可能。

本来、システムの整合性を保つために、重要な変更を行うことが出来る［管理者］は1名であることが望ましいですが、［管理者］を2名以上に設定することも可能です。

ゲストアカウントの作成

step 1 「Guest」をクリック

「Guest」をクリックする

step 2 Guest アカウントをオンにする

[オン] ボタンをクリック

step 3 Guest アカウントがオンになった

Guest アカウントが使用可能な状態になった

ワンポイント

Guest アカウント

Guest アカウントは、そのパソコン上にてユーザーアカウントを持たない人が、一時的にパソコンにログインして使用するためのアカウントです。Guest アカウントの権限は、標準ユーザーとほぼ同じですが、パスワード保護されたファイル、フォルダ、設定などへのアクセスが制限されます。Guest アカウントでのログインを可能にするには、ここで示した方法で、Guest アカウントをオンにしておく必要があります。

パスワードの設定

step 1 パスワードを設定するアカウントを選択する

パスワードを設定したいアカウントをクリック

step 2 パスワードの作成を選ぶ

［パスワードの作成］をクリック

step 3 パスワードの設定を行う

1 パスワードを入力する

2 確認のため同じものをもう一度入力する

3 パスワードのヒントを入力する

4 ［パスワードの作成］をクリック

ワンポイント

パスワード

パスワードを設定すると、ログオンする際にパスワードの入力を要求されます。自分のアカウントを、他人に勝手に使用されることを防ぐことが出来ます。

ワンポイント

パスワードのヒント

パスワードのヒントは、パスワードを忘れたときに、思い出す手がかりになるようなものを設定します。ただし、パスワードのヒントはどのユーザーでも見ることが出来るので、簡単にパスワードを予測できるようなヒントは避けたほうがよいでしょう。

SECTION

53 ユーザーアカウントの設定を変更する

ユーザーアカウントの設定は、後から変更することも可能です。セキュリティ保護のため、定期的にパスワードを変更することは重要です。

- ユーザーアカウントの設定を変更する
- パスワード・アカウントの削除
- 画像の変更

パスワードを変更する

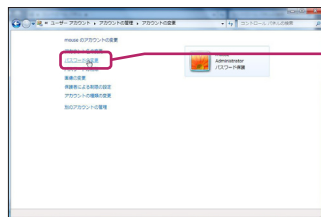
step 1 コントロールパネルを開く

コントロールパネルを開きます

[ユーザーアカウントの追加または削除]をクリック

step 2 変更したいユーザーアカウントを選択する

パスワードを変更したいユーザーアカウントをクリック

step 2 変更したいユーザーアカウントを選択する

[パスワードの変更]をクリック

テクニック

パスワードを削除する

ユーザーアカウントの画面で、「パスワードを削除する」をクリックすると、パスワードを削除することが出来ます。

▲[パスワードの削除]をクリックする

テクニック

アカウントを削除する

ユーザーアカウントの画面で、「アカウントの削除」をクリックすると、アカウントを削除することが出来ます。アカウントの削除は、管理者にしか行うことが出来ません。

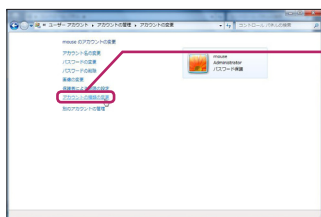
▲[アカウントの削除]をクリックする

step 4 新しいパスワードの設定を行う

1 パスワードの設定を行い

2 ［パスワードの変更］をクリック

アカウントの種類の変更

step 1 ［アカウントの種類の変更］をクリック

［アカウントの種類の変更］をクリック

step 2 新しいアカウントの種類を選択する

現在のアカウントの種類が表示されます

1 新しいアカウントの種類を選択する

2 ［アカウントの種類の変更］をクリック

ワンポイント

標準ユーザーの制限

　コンピューターの管理者は、すべてのユーザーのユーザーアカウント情報を変更できますが、標準ユーザーは自分自身の情報しか変更できません。

テクニック

画像の変更

　ログイン画面で表示される、ユーザーごとの画像を変更することも可能です。［画像の変更］をクリックし、一覧の画像の中から好きな画像を選択します。

▲［画像の変更］をクリック

▲好きな画像を選択し、「画像の変更」をクリックする

SECTION 54

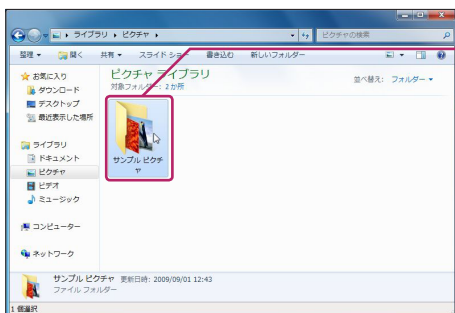
ファイルやフォルダーの共有

複数人でパソコンを使用する場合、全ユーザーがアクセスできるファイル、フォルダーと、本人しかアクセスできないファイルやフォルダがあります

☑ファイル・フォルダーの共有設定

ファイル・フォルダの共有設定

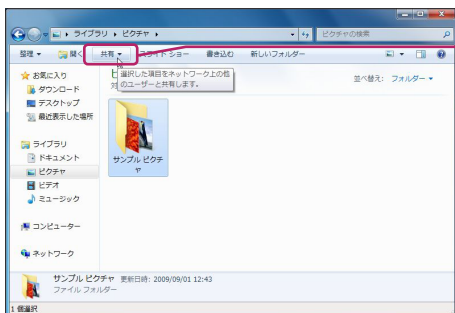
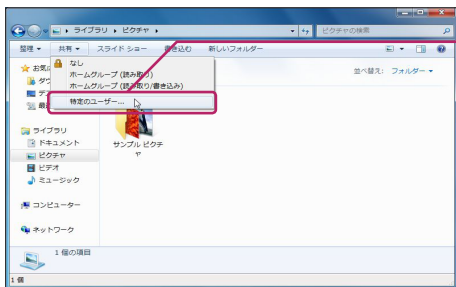
step 1 共有したいフォルダを選択

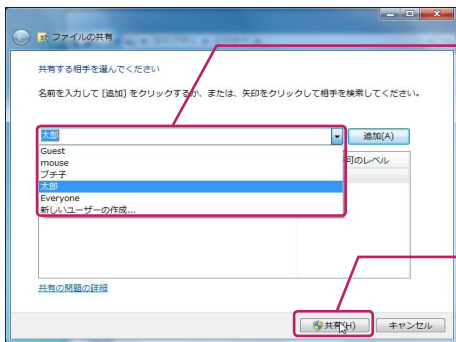
共有したいフォルダを選択する

step 2 [共有] ボタンをクリック

[共有] ボタンをクリック

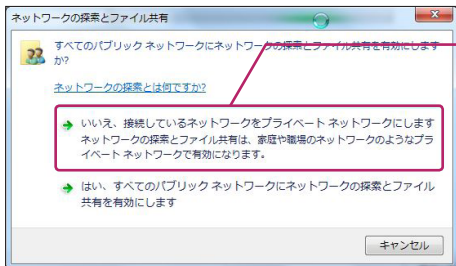
ワンポイント

標準ユーザーも共有フォルダー、ファイルにアクセスできる

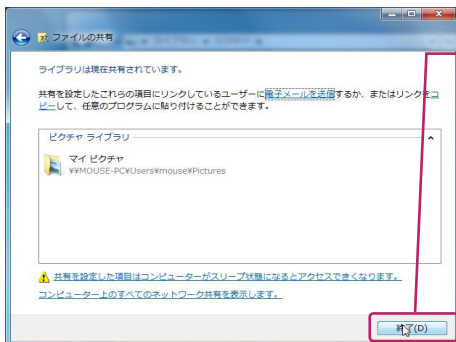
共有設定がされていれば、アカウントの種類に関係なくそのファイル・フォルダーにアクセスすることが出来ます。

step 3 ［特定のユーザー］をクリックする

1［特定のユーザー］をクリックする

step 4 共有したいユーザー名を選択する

1 ユーザー名を選択する

2［共有］をクリックする

step 5 ネットワークの探索とファイル共有の選択

［いいえ、接続している・・・］をクリック

［終了］をクリック

CHAPTER 9

Windows の メンテナンス

本章では、セキュリティーセンターの活用、システムの復元、ハードディスクのバックアップ操作などについて説明します。

55 ● アクションセンターについて 136
56 ● WindowsUPdate について 138
57 ● WindowsDefender について 140
58 ● システムの復元を利用する 142
59 ● ハードディスクを最適化する 144

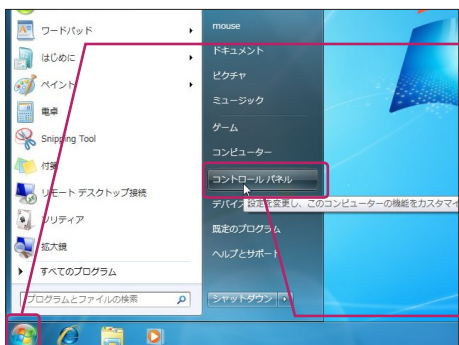
SECTION

55 アクションセンターについて

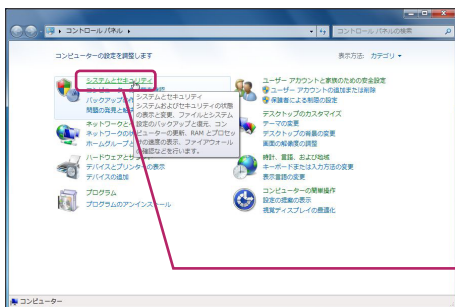
アクションセンターは、パソコンをウィルス、スパイウェアなどの脅威から保護するための機能の中枢です。

- ☑アクションセンターを起動する
- ☑アクションセンターの概要
- ☑アクションセンターの各項目

アクションセンターを起動する

step 1 コントロールパネルを起動する

1［スタート］ボタンをクリック

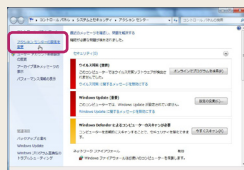
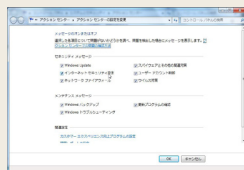
2［コントロールパネル］をクリック

step 2 コントロールパネルが起動する

［コントロールパネル］が起動した

［システムとセキュリティ］をクリック

ワンポイント

アクションセンターの設定の変更

各メッセージのON/OFFなど、アクションセンターの設定の変更を行うには、「アクションセンターの設定の変更」をクリックします。

▲［アクションセンターの設定の変更］をクリック

▲通知方法を選択する

step 3 ［アクションセンター］をクリック

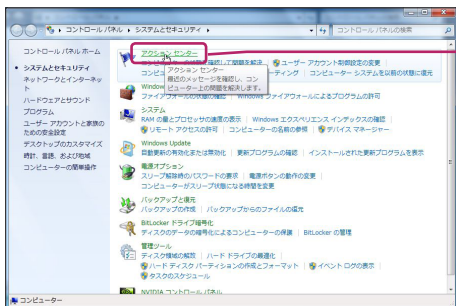
［アクションセンター］をクリック

step 4 ［セキュリティーセンター］が起動する

［セキュリティーセンター］の画面が起動する

詳細を確認したい項目の右にある↓矢印をクリック

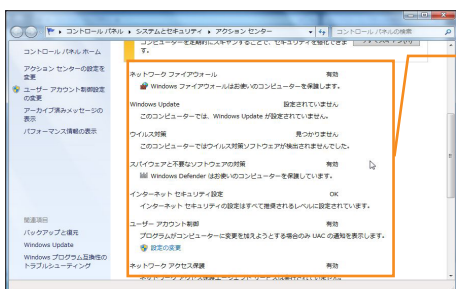
step 5 項目の詳細が表示されます。

項目の詳細が表示されます

ワンポイント

セキュリティーセンターの各項目

セキュリティーセンターの中には以下の項目があります。

❶ネットワークファイアウォール
Windows ファイアウォールの有効・無効を表示します。
❷ WindowsUpdate
Windows アップデートの実行、更新の確認、設定を行います。
❸ Windows　Defender
WindowsDefender の有効・無効を表示します
❹インターネットセキュリティ設定
インターネットのセキュリティ情報を表示します。
❺ユーザーアカウント制御
ユーザーアカウント制御（UAC）の設定を行います。
❻ネットワークアクセス保護
ネットワークアクセス保護の有効 / 無効を表示させせます。

SECTION

56 WindowsUpdateについて

WindowsUpdateは、Windowsの重要な更新などがあった場合にインターネット経由で常にWindowsの状態を最新に保つための機能です。

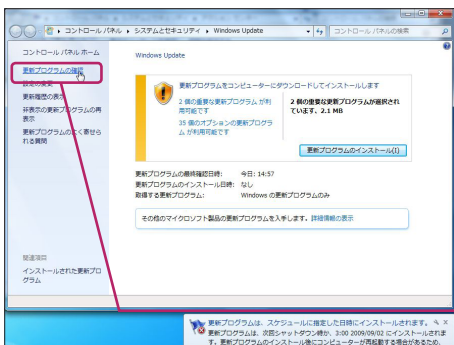
- ☑ WindowsUpdateを行う
- ☑ WindowsUpdateの設定
- ☑ 更新履歴の表示

WindowsUpdateを行う

step 1 ［アクションセンター］を起動する

［セキュリティーセンター］を起動します

[Windows Update]の右側にある［設定の変更］をクリックする

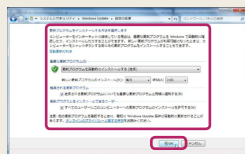
step 2 [Windows Update]の画面が開く

WindowsUpdateの画面が開く

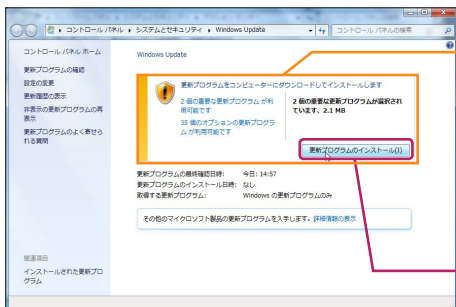
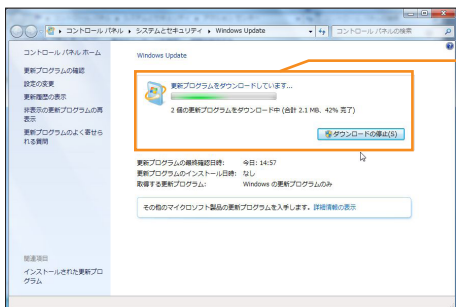
［更新プログラムの確認］をクリック

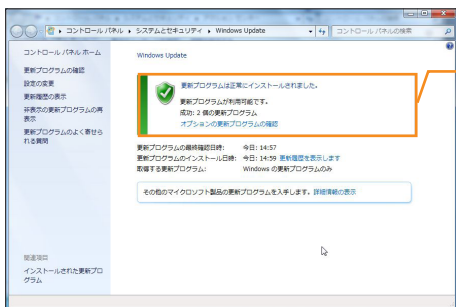
テクニック

Windows Updateの設定

Windows Update画面において、［設定の変更］をクリックすることで、WindowsUpdateの動作設定を変更することが出来ます。ここでは、Windows Updateの自動更新の頻度、更新プログラムのインストールの方法などを設定することが出来ます。

▲［設定の変更］をクリック

▲設定を変更し、[OK]をクリックする

step 3 更新プログラムの確認を行う

step 4 更新プログラムのダウンロード、インストールが開始

更新プログラムのダウンロード、インストールが開始されます

step 5 更新プログラムのインストールが完了した

更新プログラムのインストールが完了し、Windows が最新の状態になりました

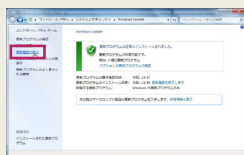
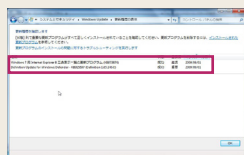
ワンポイント

ウィルス対策

ウィルス対策ソフトは、WindowsVista には付属していません。別途市販品を用意し、インストールする必要があります。

テクニック

更新履歴の表示

[更新履歴の表示] をクリックすることにより、今までの Windows Update にて更新した内容を一覧で表示することが出来ます。

▲[更新履歴の表示] をクリック

▲今までの更新履歴が一覧で表示される

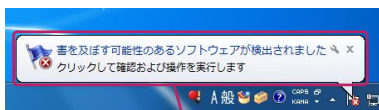
SECTION 57

Windows Defender について

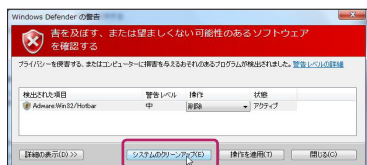
Windows Defender は、スパイウェア等の感染するのを防ぐためのプログラムです。Windows Defender を使用してスパイウェアを削除してみましょう。

- スパイウェアの検出と削除を行う
- スパイウェアとは
- スキャンの種別について

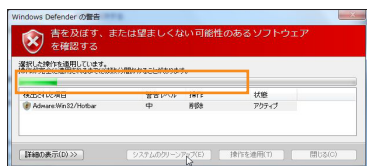
スパイウェアの検出および削除を行う

step 1 警告メッセージが表示される

スパイウェアが検出された場合、画面右下の通知領域に警告メッセージが表示されます。

警告メッセージをクリック

step 2 [Windows Defender] が起動する

[Windows Defender] が起動します

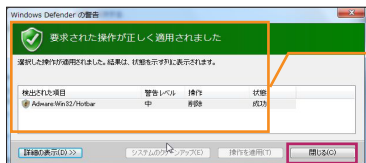
[システムのクリーンアップ]をクリックする

step 3 削除が開始される

スパイウェアの削除が開始されます。

ワンポイント

スパイウェアとは

スパイウェア（Spyware）とは、ユーザに関する情報を集めて記録し、更に集めた情報を予め設定された特定の（情報収集者である）企業や団体・個人等に送信するソフトウェアのことです。インターネット閲覧、アプリケーションのインストールなど、通常のパソコン操作に紛れ感染し、感染後もバックグラウンドで動作するものが多いので、スパイウェアに感染していることに気づかず、PC を使用し続けてしまう例もあります。

step 4 削除が完了する。

スパイウェアの削除が完了し、結果が表示されます。

［すべて削除］をクリック

ワンポイント

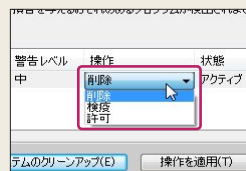
検出されたスパイウェアの処理

Windows Defender にて検出されたスパイウェアに対しては、以下の操作を選択して行うことができます。

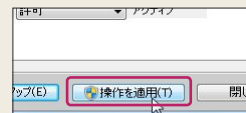
①［削除］
スパイウェアをコンピュータから完全に削除します

②［検疫］
Windows Defender でスパイウェアが検疫されると、そのスパイウェアはコンピュータ上の別の場所に移動され、ユーザーが復元するか、またはコンピュータから削除するまで実行されなくなります。

③［許可］
Windows Defender の許可済み一覧にソフトウェアを追加し、コンピュータでの実行を許可します。

操作の選択方法は、下図のとおりです。

▲実行する操作を選択し

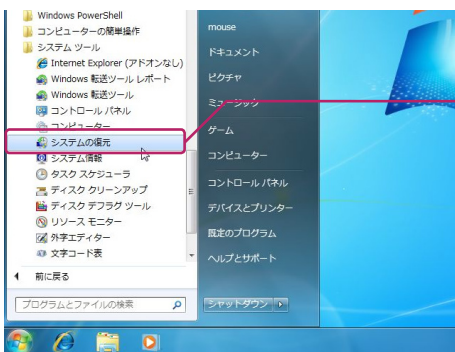
▲［操作を適用］をクリックする

SECTION 58

システムの復元を利用する

何らかの設定変更後に、Windows の動作が不安定になった場合は、設定変更前の時点まで「システムの復元」を行うことで回復することがあります。

- ☑ システムの復元の実行
- ☑ 復元されるファイルの種類

システムの復元を実行する

step 1 ［システムの復元］の起動

［すべてのプログラム］⇒［アクセサリ］⇒［システムツール］⇒［システムの復元］をクリック

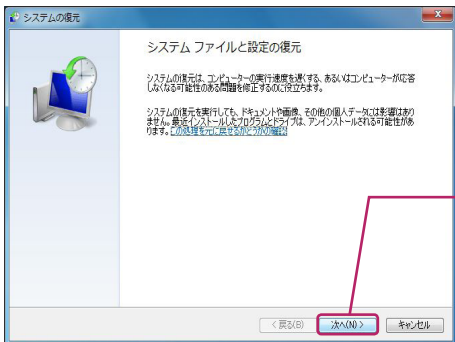
step 2 システムの復元が起動した

［システムの復元］が起動します

1 ［次へ］をクリック

ワンポイント

復元ポイントの自動生成

システムの復元に使われる復元ポイントは、Windows7 よって自動的に作られます。ドライバの更新、WindowsUpdate、新規アプリケーションのインストールなど、Windows にとって重要な変更が行われた際は、自動的に復元ポイントが作成されます。

ワンポイント

セーフモードでの復元

Windows が正常起動しなくなった場合でも、セーフモードなら起動する場合があります。この場合、セーフモードで Windows を起動した後、Windows が正常動作していた時点の復元ポイントまで、システムの復元を行うことで、Windows の破損を修復できる可能性があります。

step 3 復元ポイントを選択する

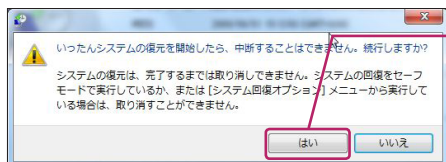
1 復元ポイントを選択する

2 [次へ] をクリック

step 4 復元ポイントを確定する

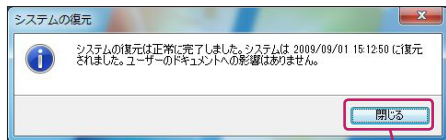
[復元ポイントの確認] 画面が開く

[完了] をクリック

step 5 確認メッセージが表示される。

[はい] をクリック

システムの復元が開始されます。

PC が再起動します。

step 5 確認メッセージが表示される。

再起動後、システムの復元の完了メッセージが表示されます。

[閉じる] をクリック

ワンポイント

データファイルは復元されない

　システムの復元を行うと、アプリケーション、ドライバ、WindowsUpdate、各種設定などの状態は、復元ポイント時点まで戻りますが、メール、ドキュメントの中にある各種データなどが失われることはありません。

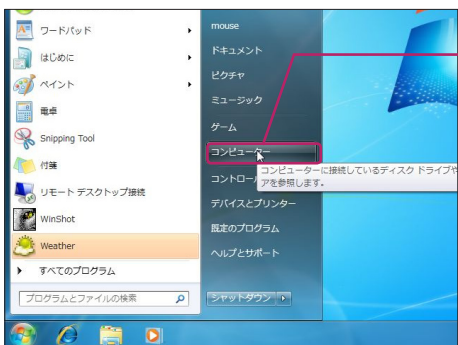
SECTION 59

ハードディスクを最適化する

ファイルの作成、削除を繰り返していると、ファイルのデータがありこちに分散する「断片化」が発生します。最適化によって「断片化」を解消できます。

- ハードディスクを最適化する
- 最適化の働き
- 最適化のスケジューリング

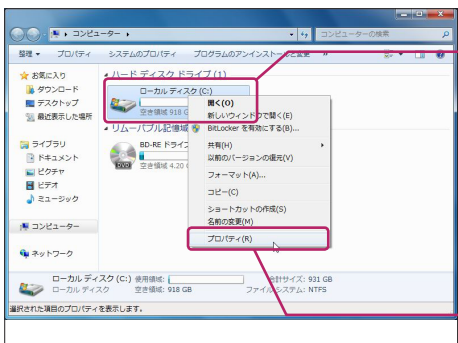
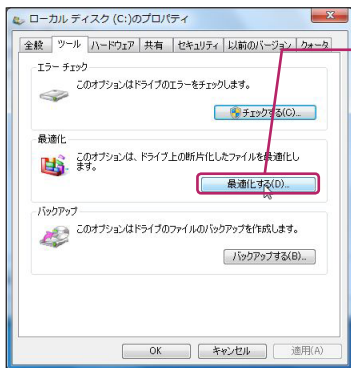
ハードディスクの最適化を実行する

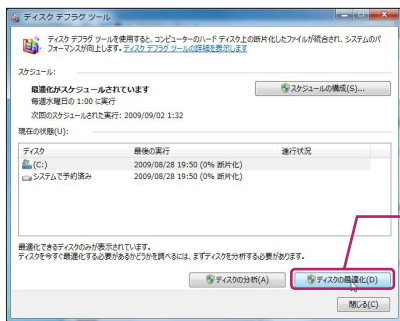
step 1 「コンピュータ」を開く

「スタート」メニューから「コンピュータ」をクリックする

step 2 ハードディスクの「プロパティ」を開く

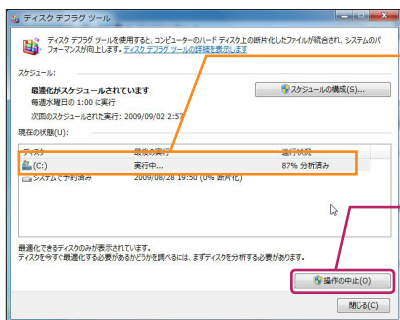
ワンポイント

最適化の働き

ファイルの作成、削除を繰り返していると、データがハードディスク上のあちこちに分散してしまう「断片化」が発生し、ハードディスクの読み込みが遅くなってしまいます。ディスクを最適化の実行により、あちこちに分散したファイルを一箇所に集め連続化することで、ハードディスクのアクセススピードを向上することが出来ます。

step 3 ハードディスクのプロパティ画面が開く

［最適化する］をクリック

step 4 最適化を開始する

［ディスクデフラグツール］が起動する

［ディスクの最適化］をクリック

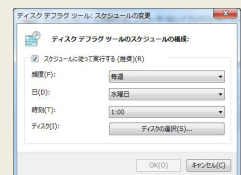
step 5 最適化が開始される

ハードディスクの最適化が開始された

最適化を途中で止めるには、［操作の中止］をクリックする

テクニック

最適化をスケジューリングする

ハードディスクの最適化を定期で自動的に行うように設定することも可能です。［スケジュールの構成］をクリックし、最適化を行うスケジュールを設定しましょう。

▲［スケジュールの構成］をクリック

▲最適化のスケジュールを設定し、[OK] をクリック

注意

最適化中はパソコンの操作を行わない

最適化中に、データの書き込みなどを行うと、最適化作業が最初からやり直しになってしまいます。最適化中は、他のパソコン操作を行わないほうがよいでしょう。